

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 26 日

P a y P a y カード健康保険組合

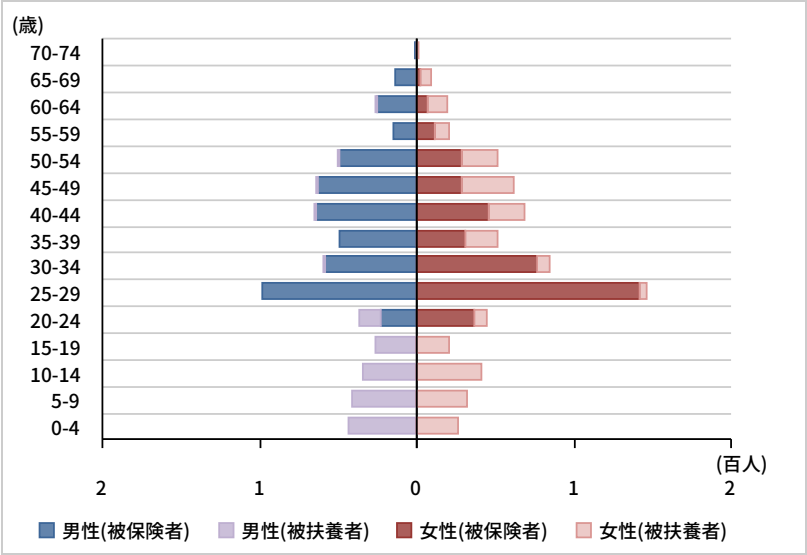
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	91376		
組合名称	PayPayカード健康保険組合		
形態	単一		
業種	金融業、保険業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	868名 男性52.9% (平均年齢40.2歳) * 女性47.1% (平均年齢34.7歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	1,301名	-名	-名
適用事業所数	1カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	3カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	84.04‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	2	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	369 / 397 = 92.9 %				
		被保険者	293 / 294 = 99.7 %				
		被扶養者	76 / 103 = 73.8 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	43 / 77 = 55.8 %				
		被保険者	41 / 72 = 56.9 %				
		被扶養者	2 / 5 = 40.0 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	4,879	5,621	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	2,774	3,196	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	3,472	4,000	-	-	-	-
	疾病予防費	39,938	46,012	-	-	-	-
	体育奨励費	264	304	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	51,327	59,132	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	0	0	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	-		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	23人	25～29	98人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	58人	35～39	49人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	64人	45～49	63人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	49人	55～59	15人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	25人	65～69	14人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	36人	25～29	142人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	77人	35～39	31人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	46人	45～49	29人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	28人	55～59	11人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	7人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	43人	5～9	41人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	34人	15～19	26人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	14人	25～29	0人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1人	35～39	0人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	26人	5～9	32人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	41人	15～19	21人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	8人	25～29	5人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	8人	35～39	20人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	23人	45～49	33人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	23人	55～59	9人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	13人	65～69	7人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 健保組合には医療専門職が不在
- 女性の被保険者は20代が多い

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
人間ドックやがん検診など検診関係が充実している。
健診受診者へのフォローが不足している。

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	歯の予防健診
保健指導宣伝	育児読本
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック
保健指導宣伝	健康管理に関するパンフレット等の配布
疾病予防	人間ドック補助
疾病予防	家族健診
疾病予防	がん検診
疾病予防	こころとからだの健康相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	禁煙チャレンジ
疾病予防	重症化予防
疾病予防	わかりやすい健診結果
疾病予防	健康診断後の再検査費用支援
疾病予防	宿泊施設等利用補助
疾病予防	常備薬の斡旋
疾病予防	マッサージルーム
疾病予防	野球観戦シート
疾病予防	リゾート施設利用補助
疾病予防	うがい薬、消毒液、マスクの提供
疾病予防	定年社員への書籍配布
体育奨励	スポーツ大会等参加費補助
体育奨励	ウォーキングプログラム
体育奨励	運動促進（ゴルフ）
事業主の取組	
1	体育奨励

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り				注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
個別の事業													
特定健康診断事業	3,4	特定健診（被保険者）	被保険者の健康維持 生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防	全て	男女	40～74	被保険者	2,083	定期健康診断に併せて実施（特定健診部分の費用を負担） 令和4年度7月～9月 311名実施	定期健康診断に併せて行うことにより全員が受診	特になし	4	
	3,4	特定健診（被扶養者）	被扶養者の健康維持 生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防	全て	男女	40～74	被扶養者	652	家族の生活習慣病健診の一環として実施 令和4年6月～令和4年12月 80名実施	利便性の高い委託会社を利用して、都合の良い健診先を選択可能	健診申込をしない被扶養者への受診勧奨	3	
特定保健指導事業	4	特定保健指導	加入者の健康維持 生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1,388	保健指導を委託、福岡は一括面談と個別面談、東京は個別面談を実施 通年 令和3年度継続：56名、令和4年度新規：47名実施予定	在宅勤務者増加によりWEB個別面談を実施	辞退希望者へのアプローチ	2	
保健指導宣伝	3	歯の予防健診	歯科予防についての知識を定着させる 歯科についての健康意識の醸成	全て	男女	0～74	加入者全員	95	通年 受診者：6名	健保組合HPへの掲載 事業主からの定期健康診断案内に掲載 委託先を利用し都合の良い健診先を選択可能	無料歯科健診実施の周知不足	5	
	5	育児読本	育児サポート	全て	女性	20～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	15	委託先の育児読本の配布 随時5名配布	業者から直送	特になし	5	
	5	医療費通知	医療費の内訳を確認することで疾病の状況など自らの健康状況を把握していただく。	全て	男女	0～74	加入者全員	123	年4回（6月、9月、12月、3月）送付	委託先にてデータ抽出及び作成、健保にて郵送 郵送前に住所変更等が可能	特になし	5	
	7	ジェネリック	医療費の適正化	全て	男女	0～74	加入者全員,基準該当者	104	健保組合削減額400円以上の全対象者へ配布 年1回（3月）	委託先にてデータ抽出及び作成、健保にて郵送 郵送前に住所変更が可能	特になし	5	
	2	健康管理に関するパンフレット等の配布	健康管理に関するパンフレットを配布することで健康意識の醸成を計る	全て	男女	0～74	加入者全員	51	定期的な疾病予防パンフレットの配布 及びHP上での健康啓発 随時	健保組合から郵送	特になし	5	
疾病予防	3	人間ドック補助	健康状態の把握 疾病の早期発見・早期治療による重症化予防	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者	5,550	通年 利用実績：158名	一部医療機関と契約し、費用請求は直接健保組合宛を実施	特になし	5	
	3	家族健診	配偶者及び40歳以上の被扶養者について生活習慣病・がんの早期発見・早期治療による重症化予防を行う	全て	男女	20～74	被扶養者	5,216	日帰り人間ドックレベルの健康診断の機会を提供 令和4年6月～令和4年12月 98名実施 受診勧奨48名	委託先を利用し都合の良い健診先を選択可能	健診申込をしない被扶養者への受診勧奨	5	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3,4	がん検診	がんの早期発見・早期治療による重症化予防	全て	男女	30～74	被保険者	1,884	40歳以上の男性：PSA、30歳以上の女性・子宮がん・乳がん検診の費用を負担 令和4年7月～令和4年9月 380名受診	定期健康診断に併せて行うことによりほぼ全員が受診する	特になし	4
	5,6	こころとからだの健康相談	一般疾病とメンタル2種類について早期対応による重症化予防	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者	259	通年 年会費相談件数::6件	健保組合HPへの掲載 相談だけでなく「みんなの家庭の医学」コンテンツを利用 新規資格取得者へのパンフレット配布	健康相談窓口及びコンテンツの周知不足	5
	3	インフルエンザ予防接種補助	インフルエンザの予防接種を行うことで発症を予防する	全て	男女	0～74	加入者全員	2,342	令和4年10月～令和5年2月 利用者：621名 被保険者：511名 被扶養者：110名	社員は集団接種、被扶養者にはシーズン直前にパンフレット・申請書を郵送にて案内	特になし	3
	5	禁煙チャレンジ	喫煙者の減少（非喫煙者の増加）	全て	男女	20～74	被保険者	0	通年 達成者：0名	全被保険者に対してチャレンジのお知らせを掲示	年1回のお知らせのため周知不足	1
	4	重症化予防	服薬中の方に対しても保健指導を実施することで、重症化する方を減らしていく	全て	男女	40～74	被保険者,基準該当者	50	特定保健指導対象外で、健診結果数値が基準を超えた人を対象に実施 通年 対象者：2名	対象者の都合に合わせてWEB個人面談を実施	特になし	1
	5	わかりやすい健診結果	加入者の健診結果を従来より分かりやすい形で提供することで自らの健康状態を正確に把握してもらい、健康意識の向上を計る	全て	男女	40～74	被保険者	262	40歳以上の特定健診受診者を対象に提供 令和5年2月 230名配布	委託先から直送	特になし	5
	4	健康診断後の再検査費用支援	健診後の再検査費用を補助することで、再検査を受けやすい状況を整備 重症化予防をより積極的に行う	全て	男女	20～74	被保険者	196	定期健康診断後 利用者：35名	事業主の定期健康診断実施の案内文書に再検査費用補助も併せて掲載	特になし	3
	8	宿泊施設等利用補助	宿泊施設を利用しやすい環境を整備することで心身のリフレッシュを行う機会を提供する	全て	男女	0～74	加入者全員	416	通年 利用者：141名	利用範囲を宿泊施設等、日帰り旅行での施設利用まで広げて実施	宿泊施設利用補助の周知不足	5
	8	常備薬の斡旋	常備薬を利用することで疾病やケガについて早急に対応を行える状況を整備する	全て	男女	20～74	被保険者	2,323	薬品卸会社製品の斡旋 12月実施 利用者：586名	ネット申込、注文品の送付先に会社・自宅を選択可能	特になし	5
	8	マッサージルーム	身体の疲労回復 心身のリフレッシュ	一部の事業所	男女	20～74	被保険者	0	事業主との共同事業としてマッサージルームを開設し、希望者に対し施術を実施 通年 利用延べ人数：675名	社内イントラにてお知らせの掲載や、アウトLOOKを使った予約システム	特になし	5
	8	野球観戦シート	心身のリフレッシュ	全て	男女	0～74	加入者全員	3,740	令和4年3月～令和4年9月 観戦希望者へ抽選で配布 配布枚数：342枚	社内イントラへ掲載	特になし	5
	8	リゾート施設利用補助	心身のリフレッシュ	全て	男女	0～74	加入者全員	375	通年 利用延べ人数：125名	社内イントラへ掲載	特になし	4
体育奨励	8	うがい薬、消毒液、マスクの提供	風邪やインフルエンザの予防	全て	男女	20～74	被保険者	1	通年 福岡本社及び各拠点に設置 夜間勤務者のための緊急用常備薬も併せて必要拠点に設置	事業主の協力もあり、設置・交換がスムーズに実施	特になし	5
	5	定年社員への書籍配布	定年後の健康管理の働きかけ	全て	男女	60～60	被保険者	14	令和3年度より実施 通年 該当者：7名	定年社員へ事業主の協力を得て配布を実施	特になし	5
	5	スポーツ大会等参加費補助	運動習慣の向上及び定着	全て	男女	0～74	加入者全員	9	通年 参加者：2名	健保組合HPに掲載	スポーツ大会等参加補助の周知不足	2

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	8	ウォーキングプログラム	運動習慣の向上及び定着	全て	男女	0～74	加入者全員	15	健保連福岡連合会主催のウォーキングイベントに参加 令和4年9月～11月 エントリー：35名	健保組合が設定した歩数達成者と健保連から抽選で賞品進呈	期限イベントの為、終了後の対応を要検討	5
	5	運動促進（ゴルフ）	運動習慣の向上及び定着	全て	男女	20～74	被保険者	176	通年 参加者：207名	健保組合HPへの掲載	特になし	3

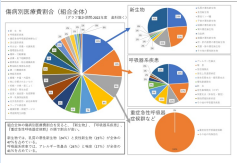
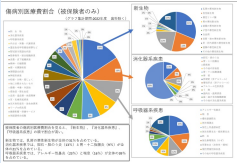
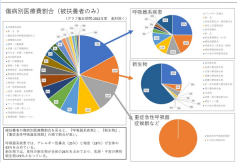
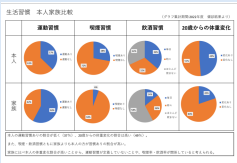
注1） 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

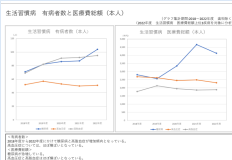
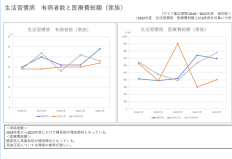
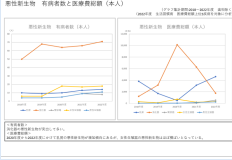
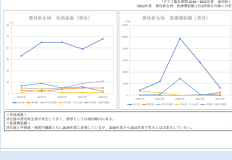
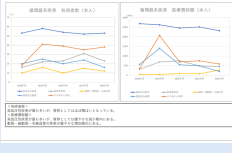
注2） 1．39%以下 2．40%以上 3．60%以上 4．80%以上 5．100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
体育奨励	-	-	-	- ～ -	-	-	-	-

STEP 1-3 基本分析

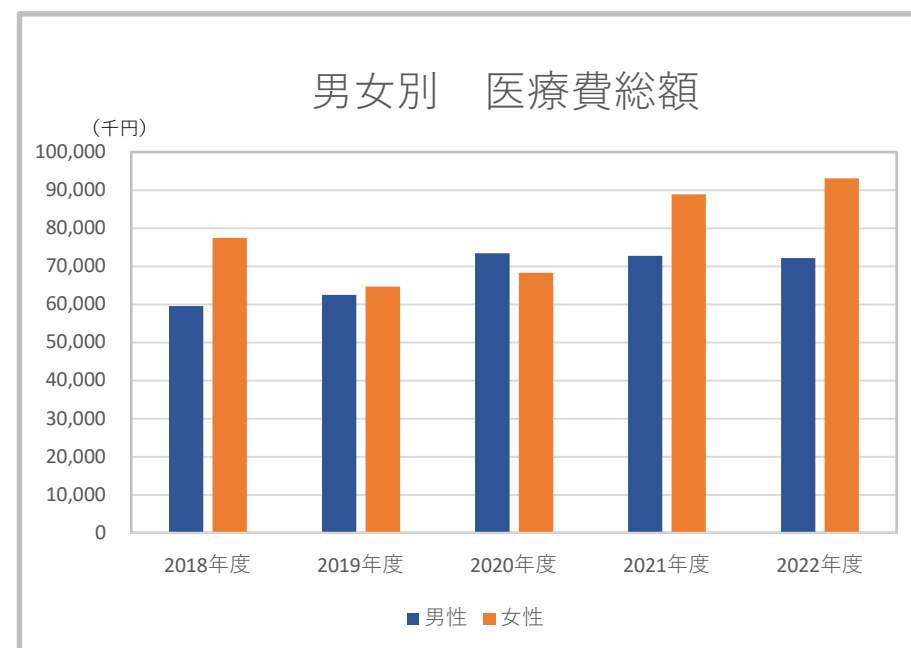
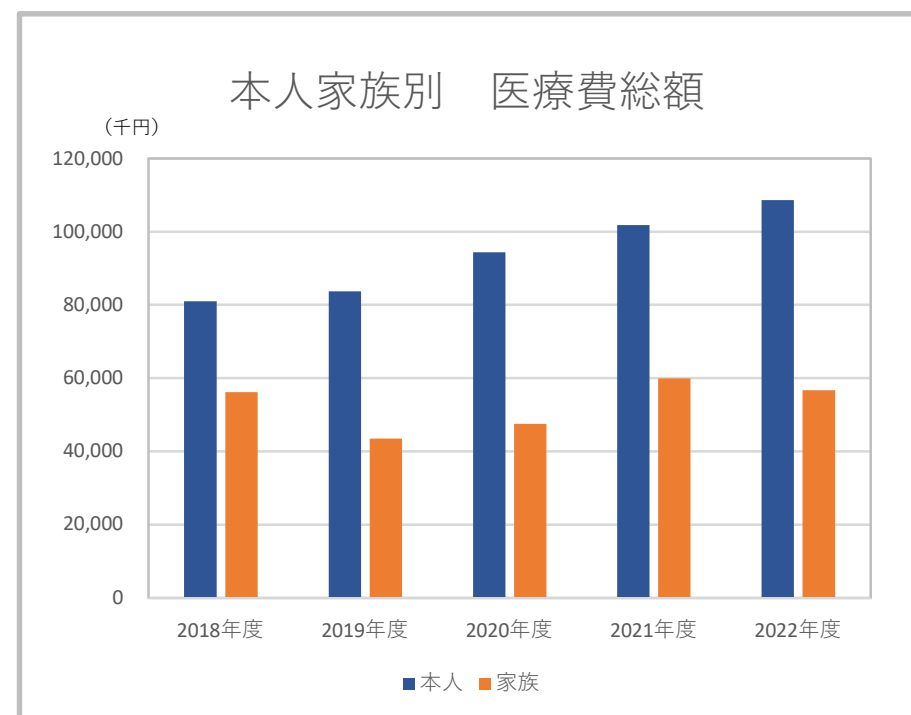
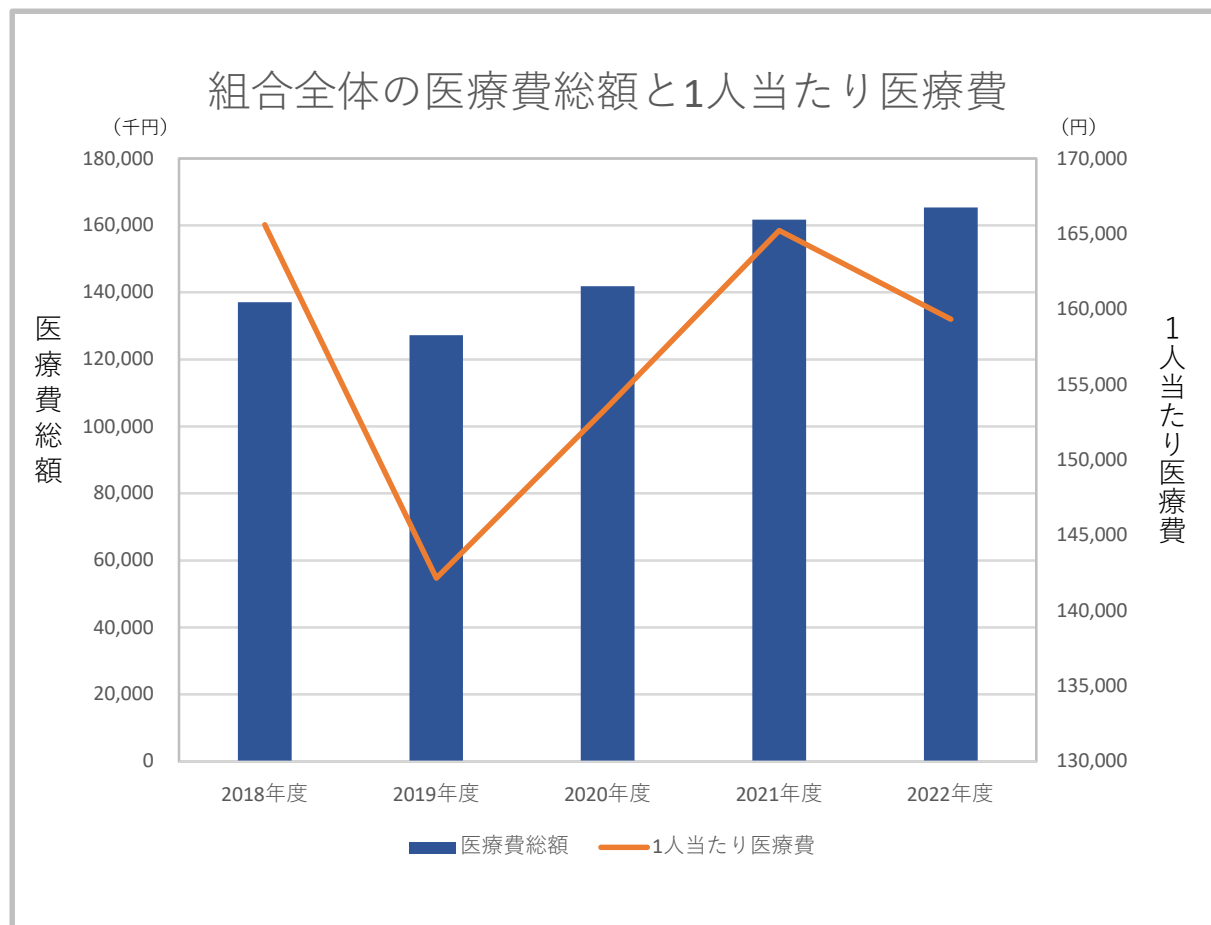
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		医療費総額と1人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
イ		歯科 医療費総額	医療費・患者数分析	-
ウ		傷病別医療費割合（組合全体）	医療費・患者数分析	-
エ		傷病別医療費割合（被保険者のみ）	医療費・患者数分析	-
オ		傷病別医療費割合（被扶養者のみ）	医療費・患者数分析	-
カ		生活習慣 本人家族比較	健康リスク分析	-

キ		生活習慣病 有病者数と医療費総額（本人）	医療費・患者数分析	-
ク		生活習慣病 有病者数と医療費総額（家族）	医療費・患者数分析	-
ケ		悪性新生物 有病者数と医療費総額（本人）	医療費・患者数分析	-
コ		悪性新生物 有病者数と医療費総額（家族）	医療費・患者数分析	-
サ		悪性新生物 有病者数と医療費総額（男性）	医療費・患者数分析	-
シ		悪性新生物 有病者数と医療費総額（女性）	医療費・患者数分析	-
ス		循環器系疾患 有病者数と医療費総額（本人）	医療費・患者数分析	-

医療費総額と1人当たり医療費

(グラフ集計期間:2018～2022年度)
(1人当たり医療費:2018～2022年度)



組合全体を見ると、医療費総額・1人当たり医療費ともに増加傾向にある。

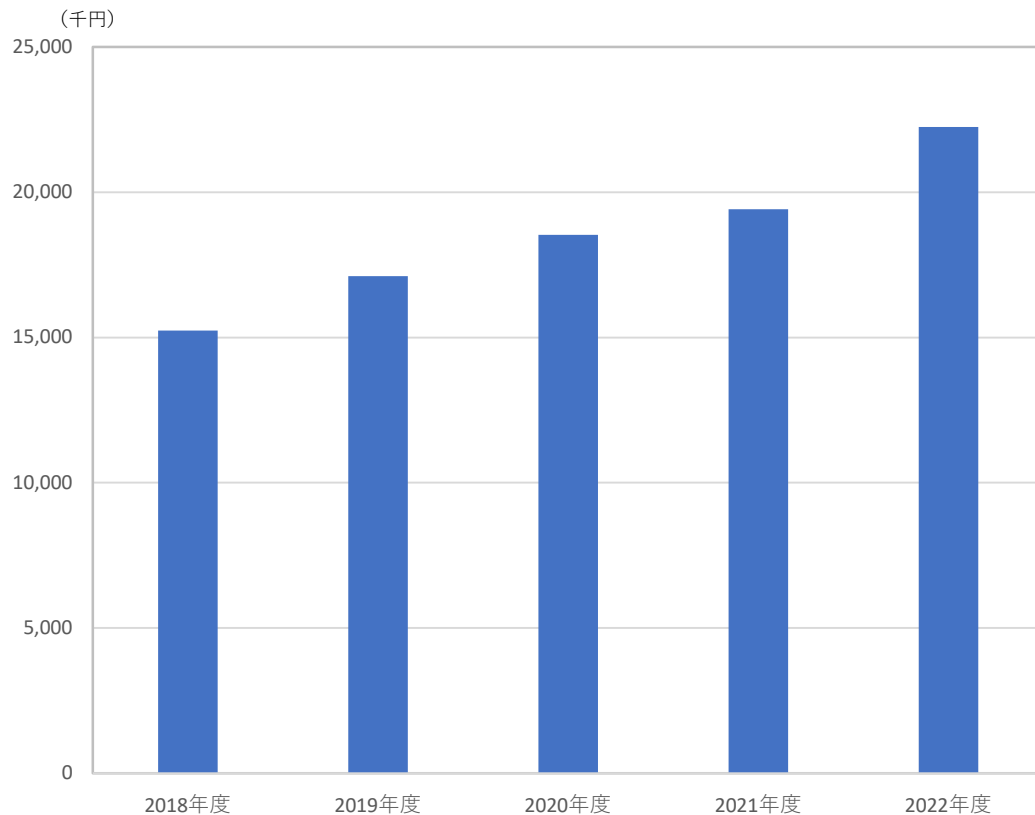
本人家族別に見ると、本人の医療費が増加傾向にある。

男女別に見ると、男性・女性ともに医療費が増加傾向にある。

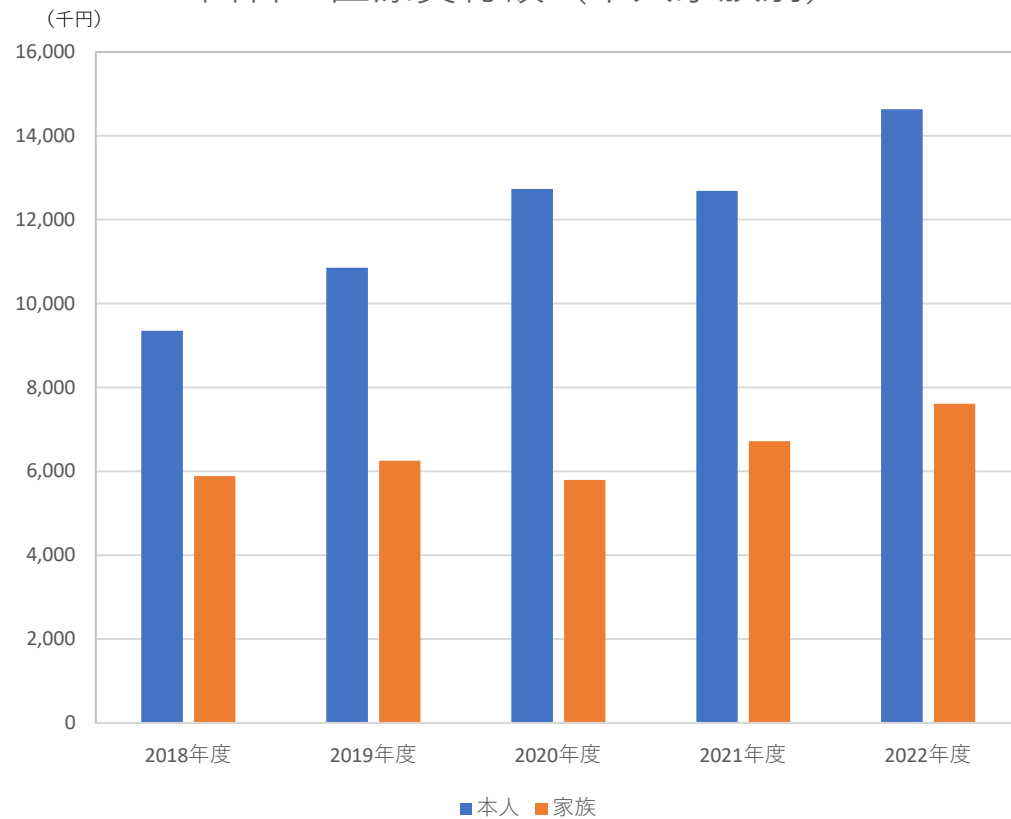
歯科 医療費総額

(グラフ集計期間:2018～2022年度)

歯科 医療費総額 (組合全体)



歯科 医療費総額 (本人家族別)

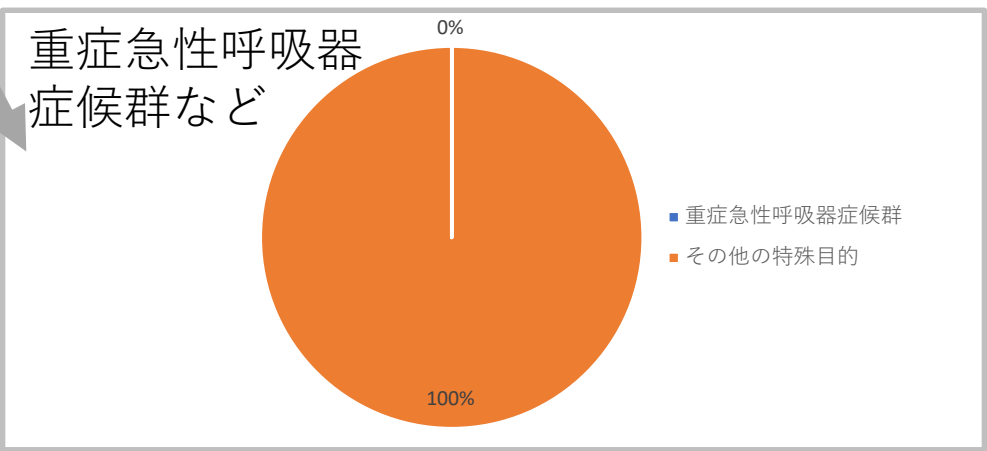
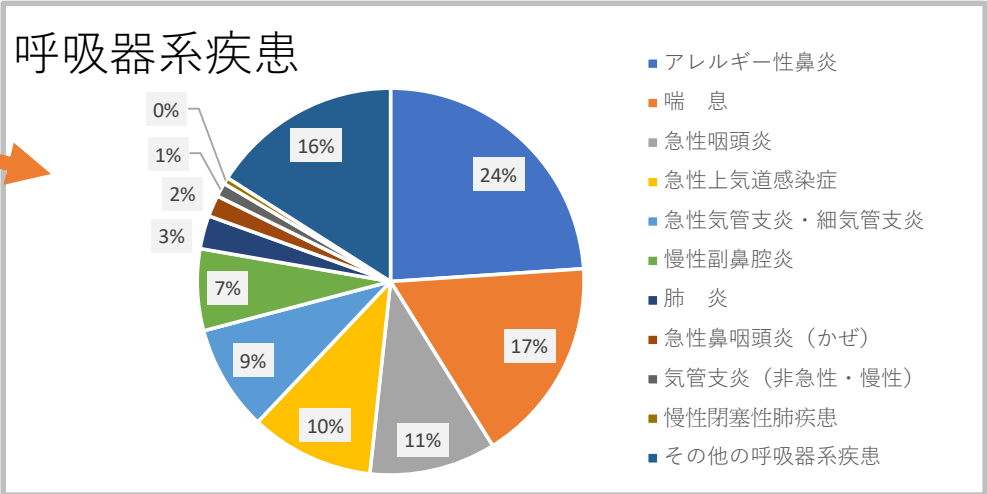
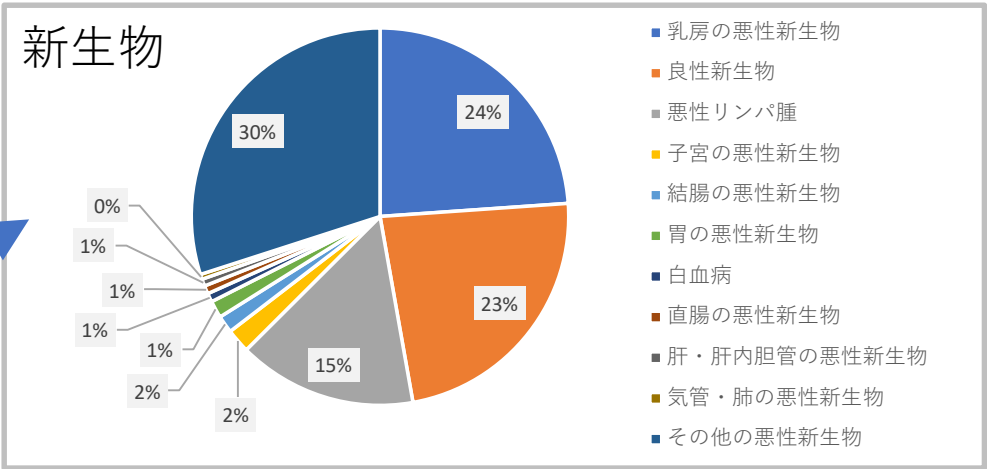
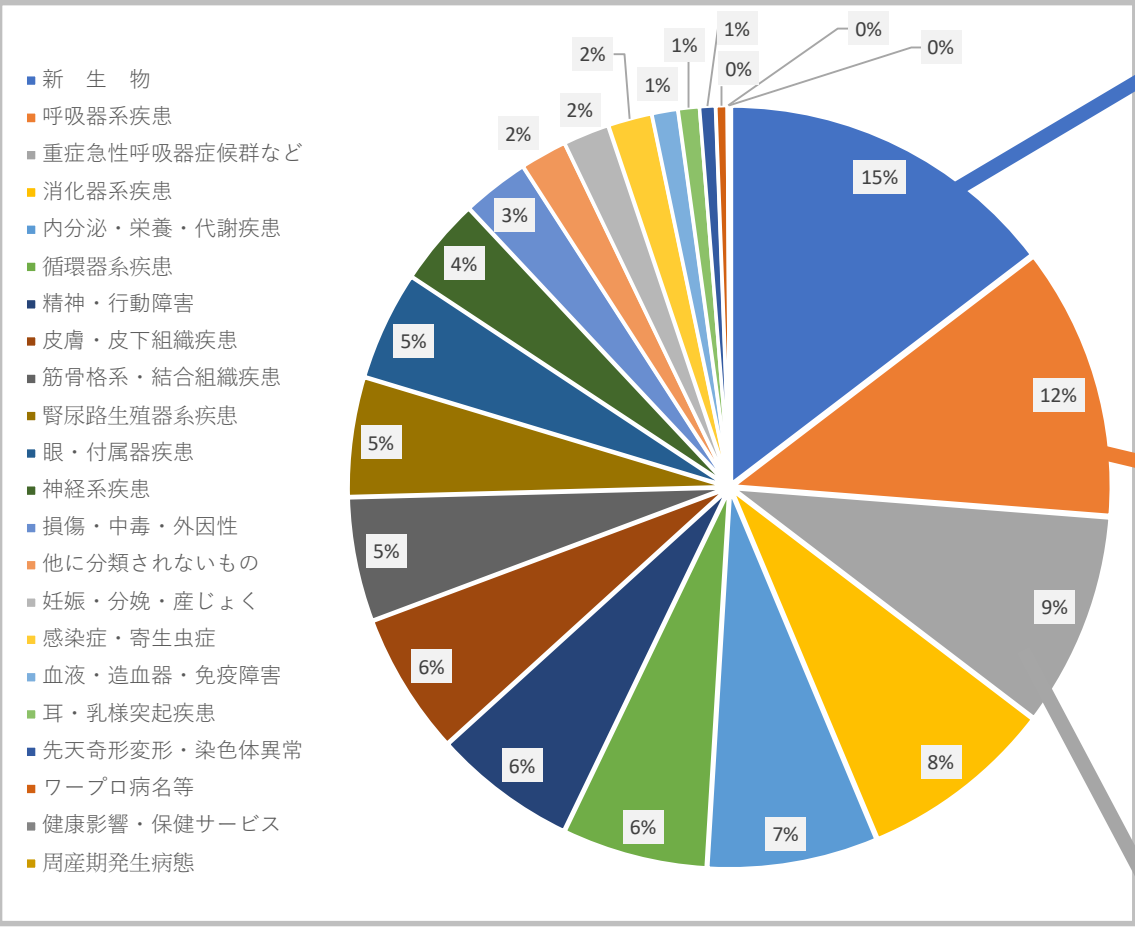


組合全体で見ると、増加傾向にある。

本人家族別で見ると、特に本人の医療費総額が増加傾向にある。

傷病別医療費割合（組合全体）

（グラフ集計期間:2022年度 歯科除く）



組合全体の傷病別医療費割合を見ると、『新生物』、『呼吸器系疾患』、『重症急性呼吸器症候群』の順で割合が高い。

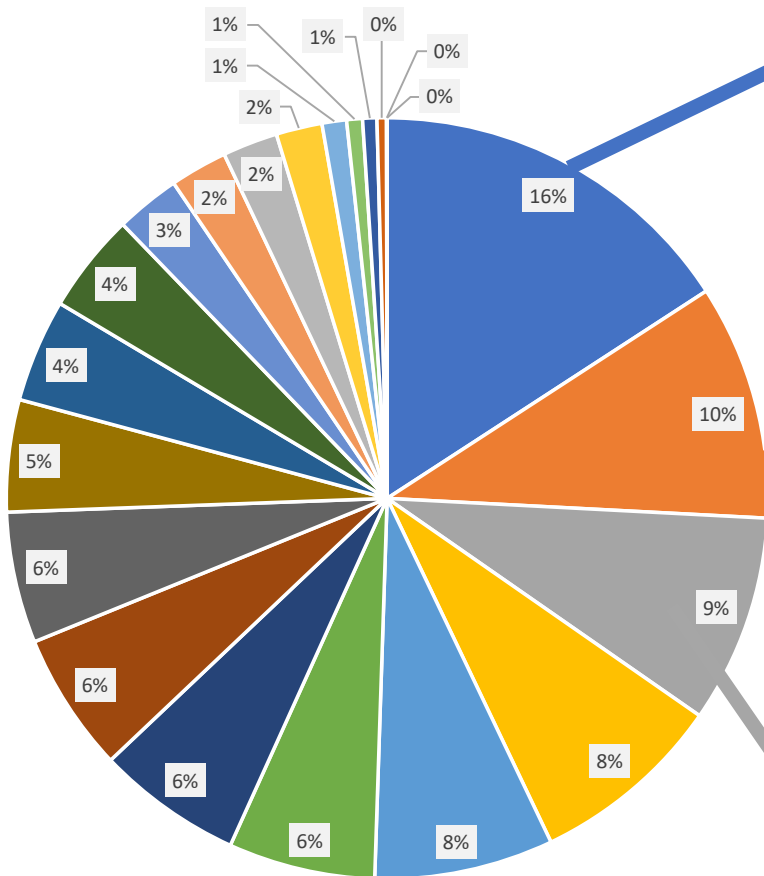
新生物では、乳房の悪性新生物（24％）と良性新生物（23％）が全体の47％を占めている。

呼吸器系疾患では、アレルギー性鼻炎（24％）と喘息（17％）が全体の41％を占めている。

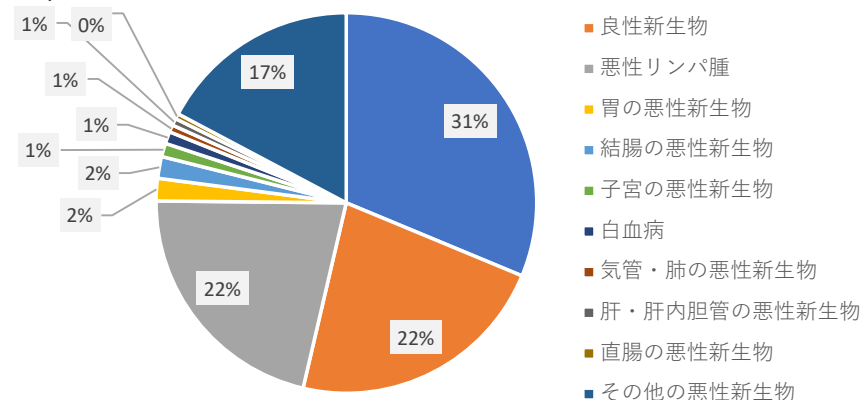
傷病別医療費割合（被保険者のみ）

（グラフ集計期間:2022年度 歯科除く）

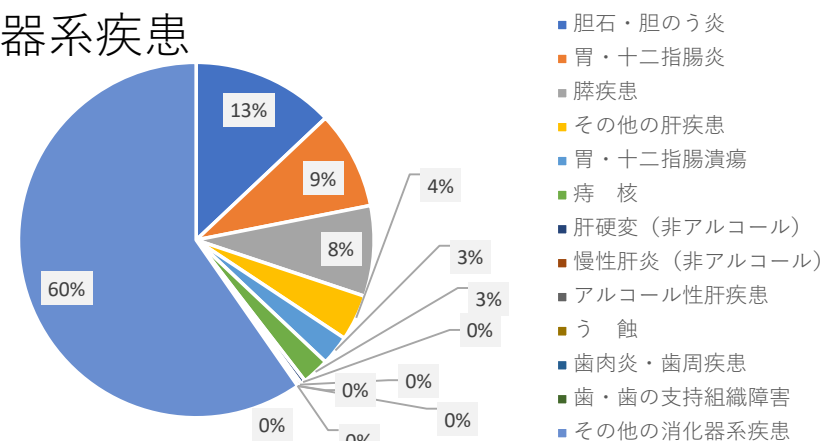
- 新 生 物
- 消化器系疾患
- 呼吸器系疾患
- 内分泌・栄養・代謝疾患
- 重症急性呼吸器症候群など
- 腎尿路生殖器系疾患
- 筋骨格系・結合組織疾患
- 皮膚・皮下組織疾患
- 精神・行動障害
- 眼・付属器疾患
- 循環器系疾患
- 神経系疾患
- 妊娠・分娩・産じょく
- 他に分類されないもの
- 損傷・中毒・外因性
- 感染症・寄生虫症
- 血液・造血器・免疫障害
- 耳・乳様突起疾患
- 先天奇形変形・染色体異常
- ワープロ病名等
- 健康影響・保健サービス
- 周産期発生病態



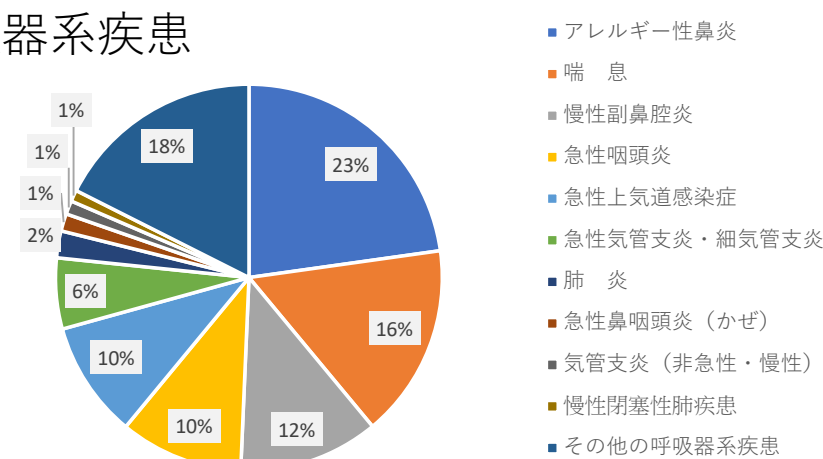
新生物



消化器系疾患



呼吸器系疾患

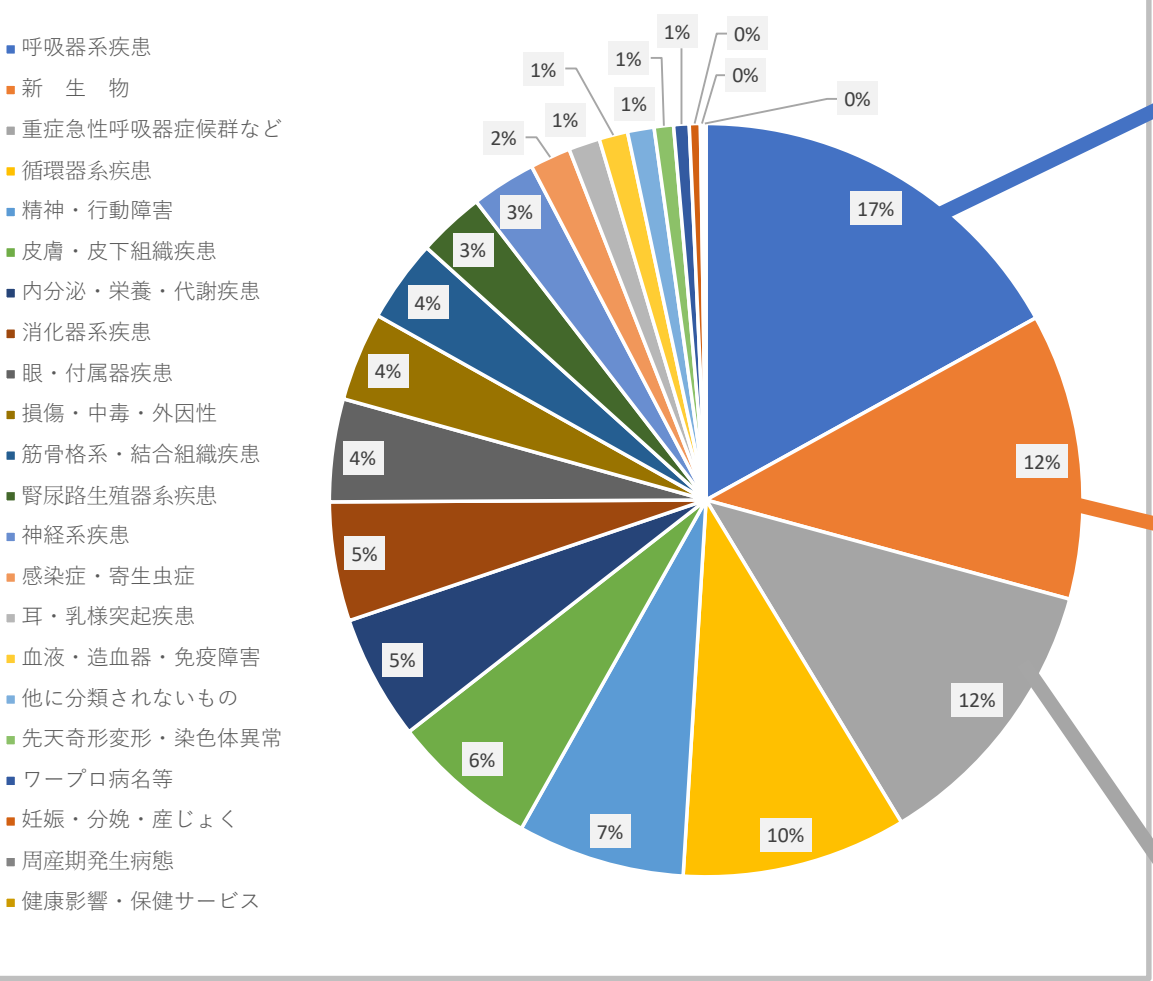


被保険者の傷病別医療費割合を見ると、『新生物』、『消化器系疾患』、『呼吸器系疾患』の順で割合が高い。

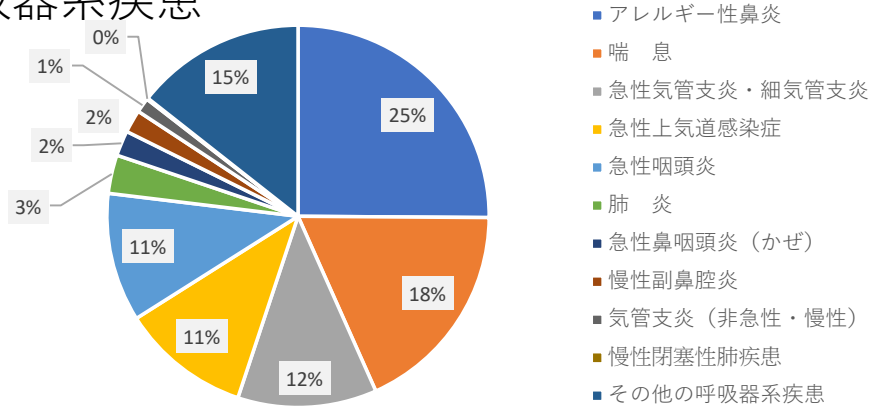
新生物では、乳房の悪性新生物が全体の31%を占めている。
消化器系疾患では、胆石・胆のう炎（13%）と胃・十二指腸炎（9%）が全体の21%を占めている。
呼吸器系疾患では、アレルギー性鼻炎（23%）と喘息（16%）が全体の39%を占めている。

傷病別医療費割合（被扶養者のみ）

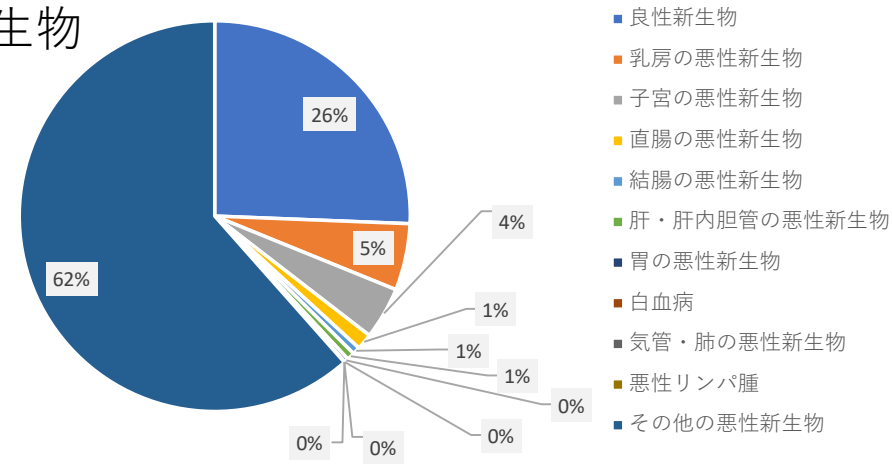
（グラフ集計期間:2022年度 歯科除く）



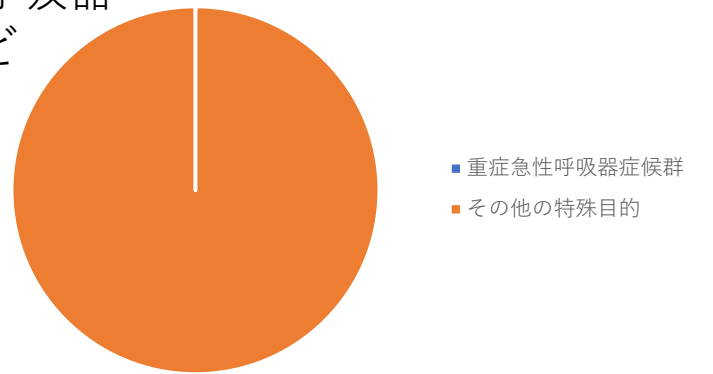
呼吸器系疾患



新生物



重症急性呼吸器症候群など



被扶養者の傷病別医療費割合を見ると、『呼吸器系疾患』、『新生物』、『重症急性呼吸器症候群』の順で割合が高い。

呼吸器系疾患では、アレルギー性鼻炎（25%）と喘息（18%）が全体の43%を占めている。
新生物では、良性の新生物が全体の26%を占めており、乳房・子宮の悪性新生物は9%となっている。

生活習慣 本人家族比較

(グラフ集計期間:2022年度 健診結果より)

	運動習慣	喫煙習慣	飲酒習慣	20歳からの体重変化																		
本人	<table><tr><td>■ 運動あり</td><td>37%</td></tr><tr><td>■ 運動なし</td><td>63%</td></tr></table>	■ 運動あり	37%	■ 運動なし	63%	<table><tr><td>■ 喫煙あり</td><td>28%</td></tr><tr><td>■ 喫煙なし</td><td>72%</td></tr></table>	■ 喫煙あり	28%	■ 喫煙なし	72%	<table><tr><td>■ 毎日</td><td>36%</td></tr><tr><td>■ 時々</td><td>32%</td></tr><tr><td>■ ほとんど飲まない</td><td>32%</td></tr></table>	■ 毎日	36%	■ 時々	32%	■ ほとんど飲まない	32%	<table><tr><td>■ 変化あり</td><td>49%</td></tr><tr><td>■ 変化なし</td><td>51%</td></tr></table>	■ 変化あり	49%	■ 変化なし	51%
■ 運動あり	37%																					
■ 運動なし	63%																					
■ 喫煙あり	28%																					
■ 喫煙なし	72%																					
■ 毎日	36%																					
■ 時々	32%																					
■ ほとんど飲まない	32%																					
■ 変化あり	49%																					
■ 変化なし	51%																					
家族	<table><tr><td>■ 運動あり</td><td>58%</td></tr><tr><td>■ 運動なし</td><td>42%</td></tr></table>	■ 運動あり	58%	■ 運動なし	42%	<table><tr><td>■ 喫煙あり</td><td>6%</td></tr><tr><td>■ 喫煙なし</td><td>94%</td></tr></table>	■ 喫煙あり	6%	■ 喫煙なし	94%	<table><tr><td>■ 毎日</td><td>14%</td></tr><tr><td>■ 時々</td><td>28%</td></tr><tr><td>■ ほとんど飲まない</td><td>58%</td></tr></table>	■ 毎日	14%	■ 時々	28%	■ ほとんど飲まない	58%	<table><tr><td>■ 変化あり</td><td>20%</td></tr><tr><td>■ 変化なし</td><td>80%</td></tr></table>	■ 変化あり	20%	■ 変化なし	80%
■ 運動あり	58%																					
■ 運動なし	42%																					
■ 喫煙あり	6%																					
■ 喫煙なし	94%																					
■ 毎日	14%																					
■ 時々	28%																					
■ ほとんど飲まない	58%																					
■ 変化あり	20%																					
■ 変化なし	80%																					

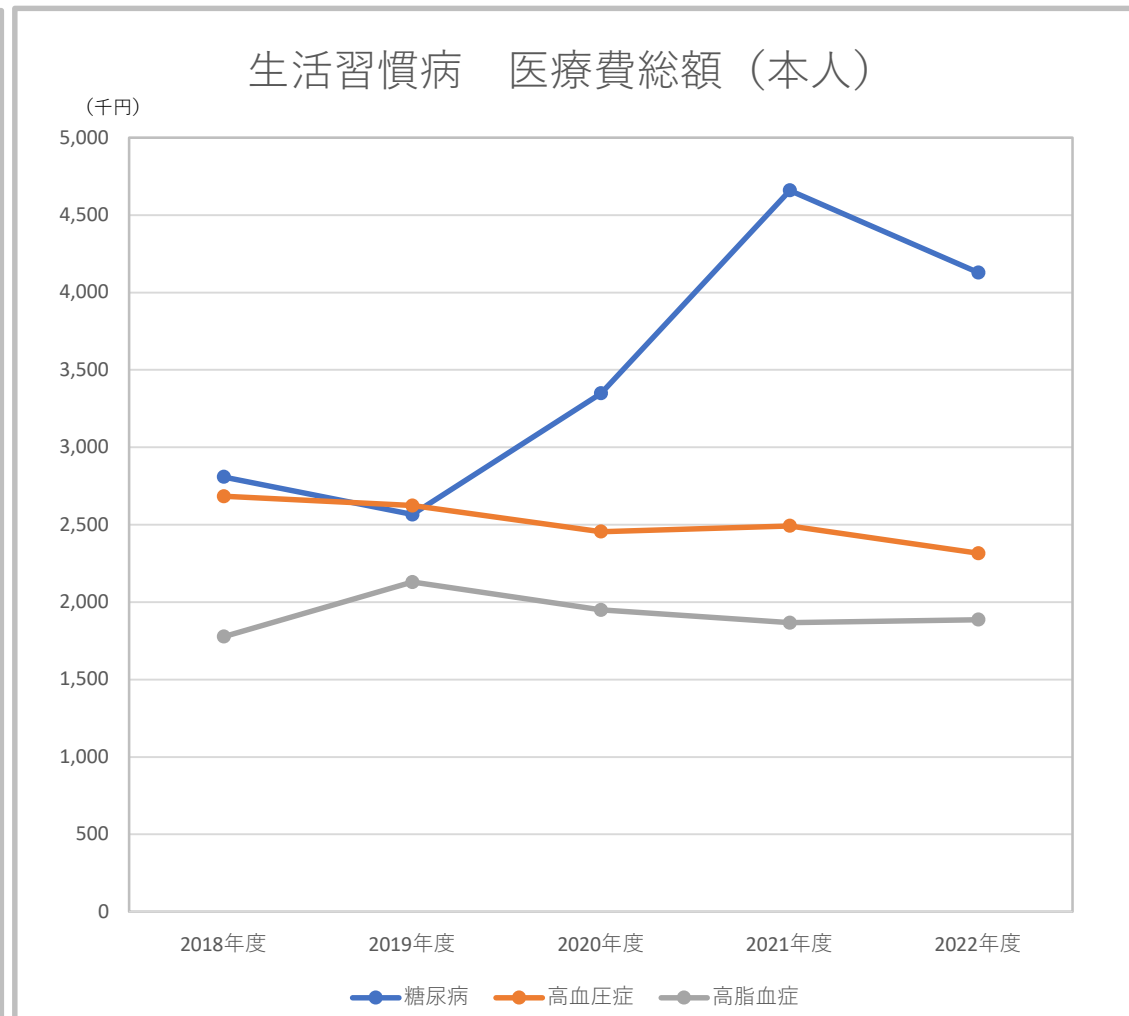
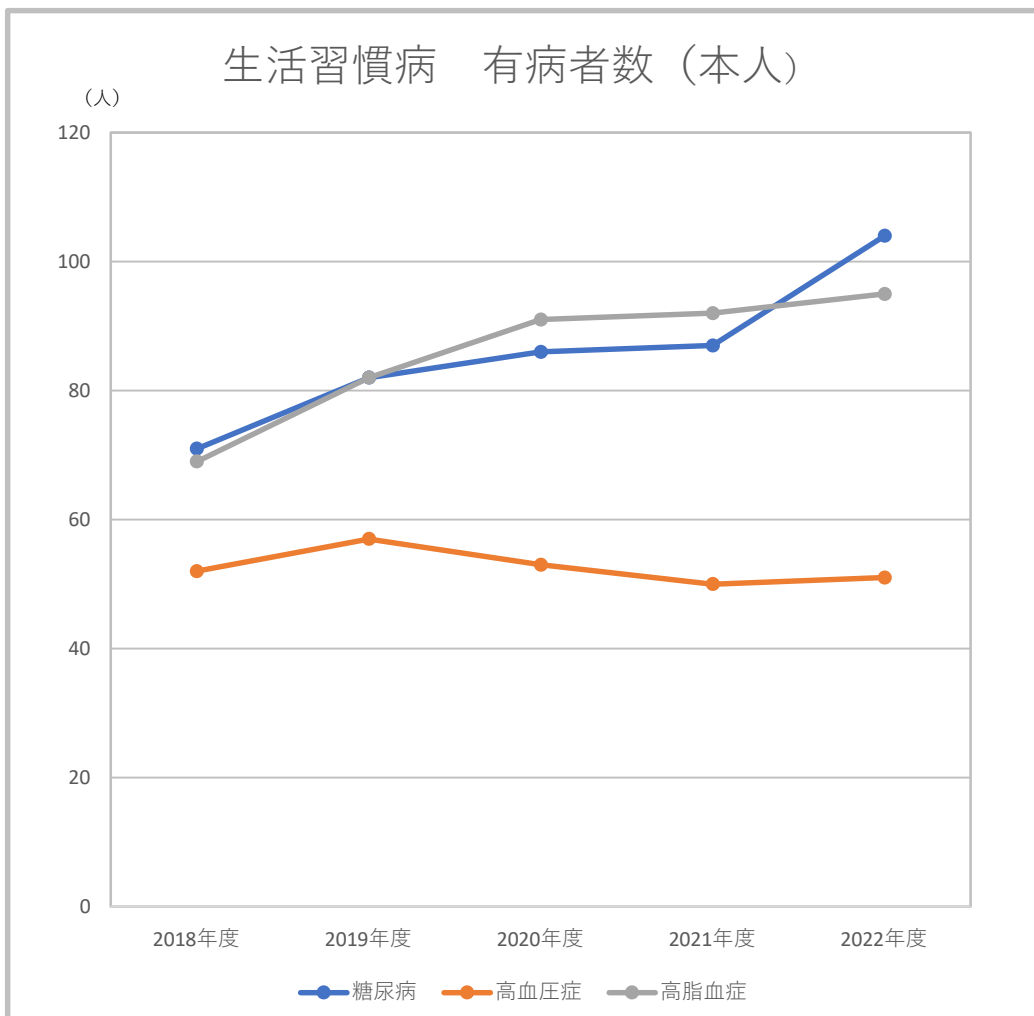
本人の運動習慣ありの割合が低く（37％）、20歳からの体重変化の割合は高い（49％）。

また、喫煙・飲酒習慣ともに家族よりも本人の方が習慣ありの割合が高い。

家族に比べ本人の体重変化割合が高いことから、運動習慣が定着していないことや、喫煙率・飲酒率が関係していると考えられる。

生活習慣病 有病者数と医療費総額（本人）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
 （2022年度 生活習慣病 医療費総額上位3疾病を対象に分析）



<有病者数>

2018年度から2022年度にかけて糖尿病と高脂血症が増加傾向となっている。
 高血圧症については、ほぼ横ばいとなっている。

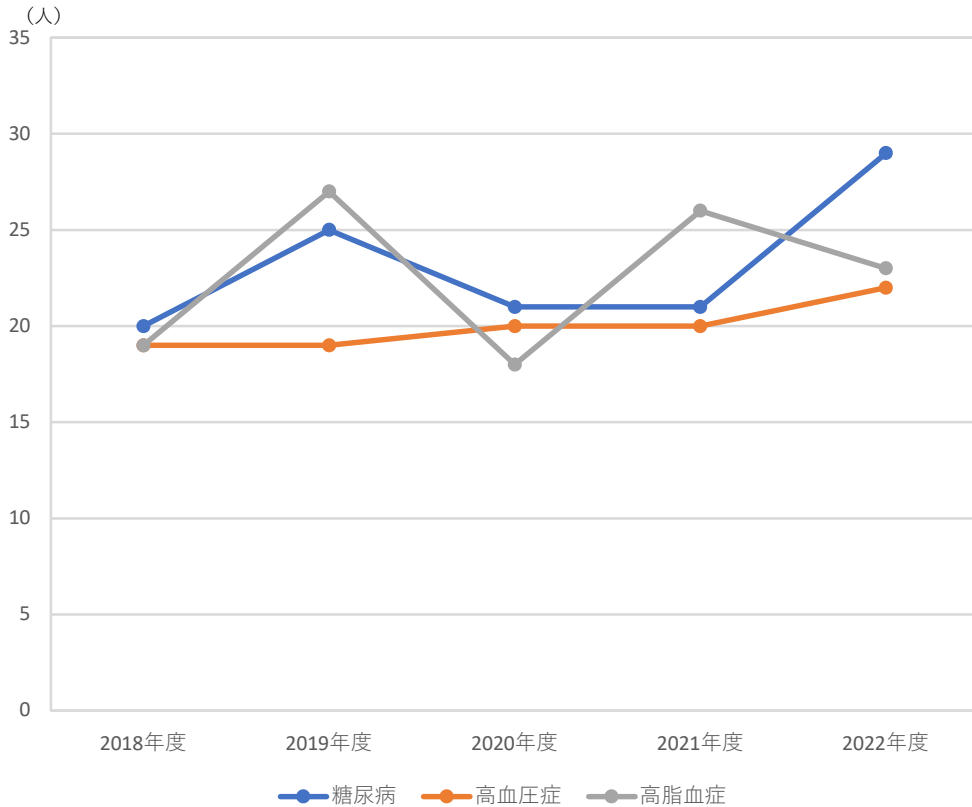
<医療費総額>

糖尿病が急増している。
 高血圧症と高脂血症はほぼ横ばいとなっている。

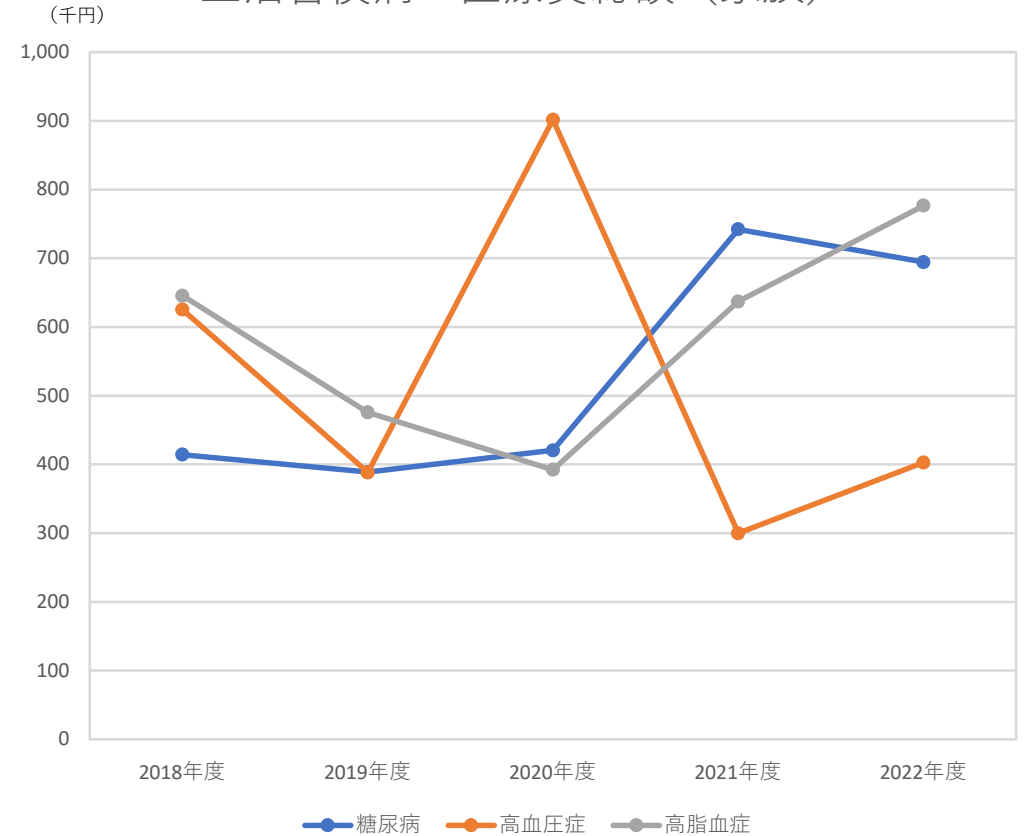
生活習慣病 有病者数と医療費総額（家族）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
 （2022年度 生活習慣病 医療費総額上位3疾病を対象に分析）

生活習慣病 有病者数（家族）



生活習慣病 医療費総額（家族）



＜有病者数＞

2018年度から2022年度にかけて糖尿病が増加傾向となっている。

＜医療費総額＞

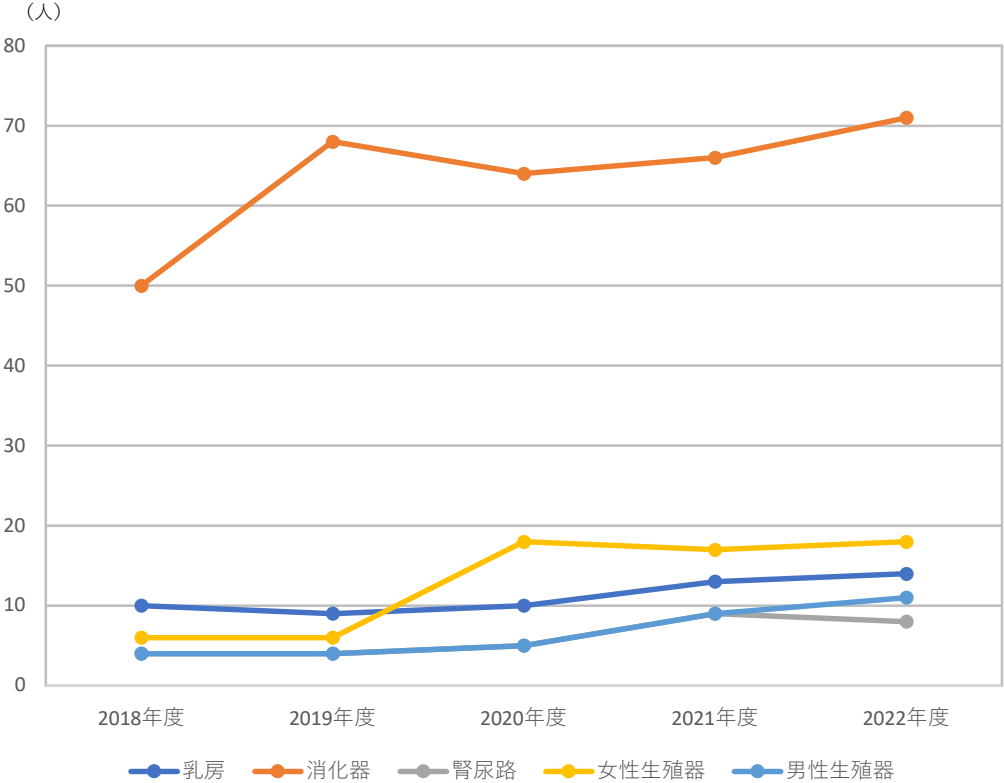
糖尿病と高脂血症が増加傾向となっている。

高血圧症については増減の推移が激しい。

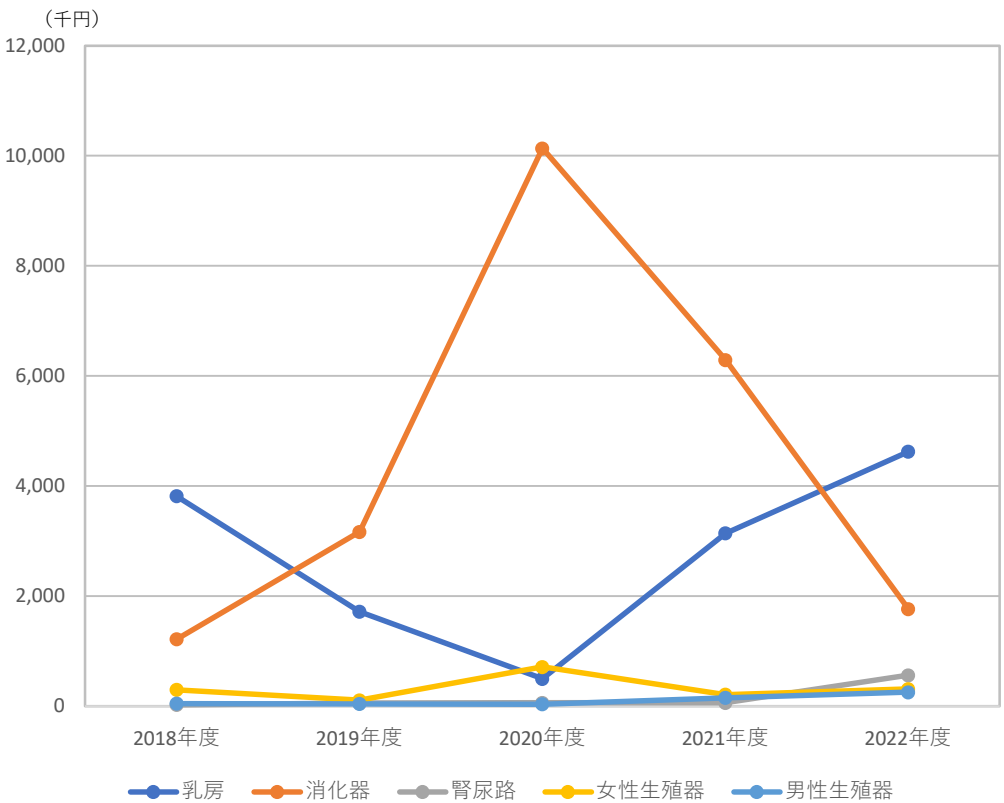
悪性新生物 有病者数と医療費総額（本人）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 生活習慣病 医療費総額上位5疾病を対象に分析）

悪性新生物 有病者数（本人）



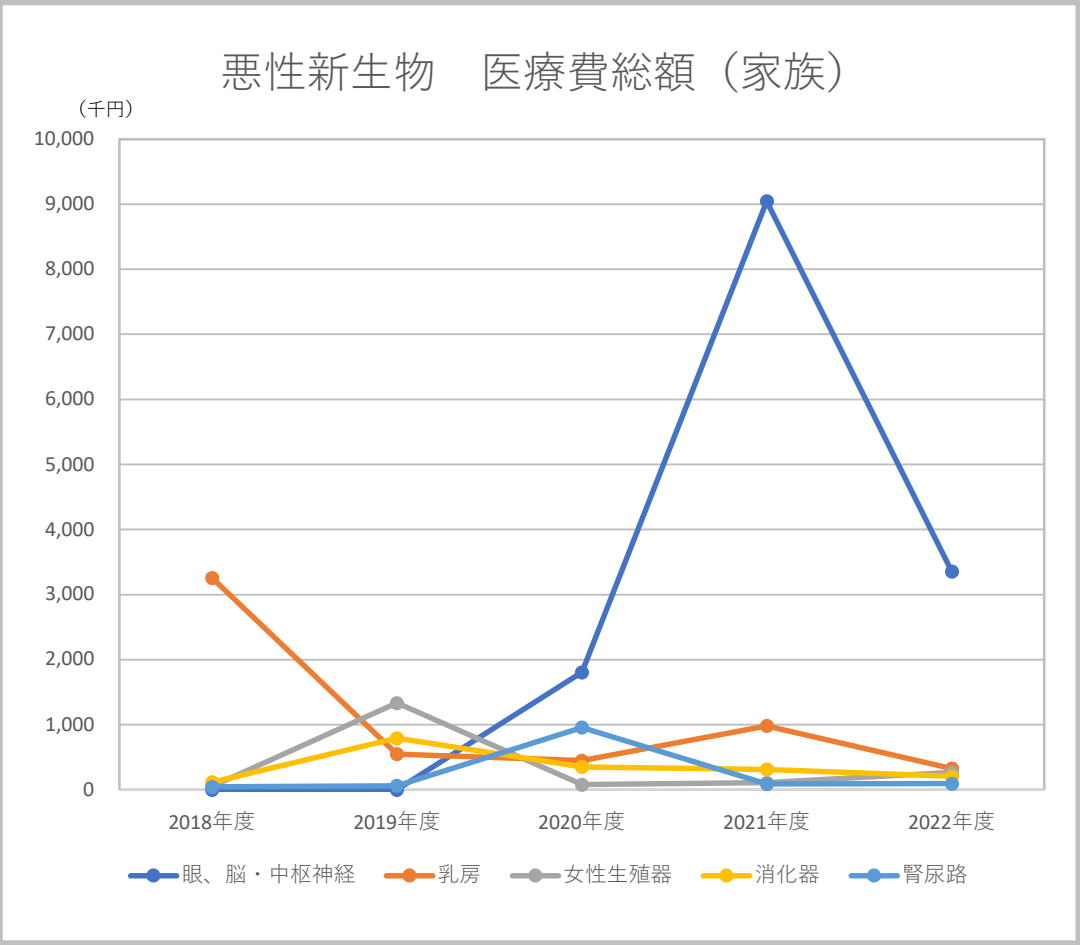
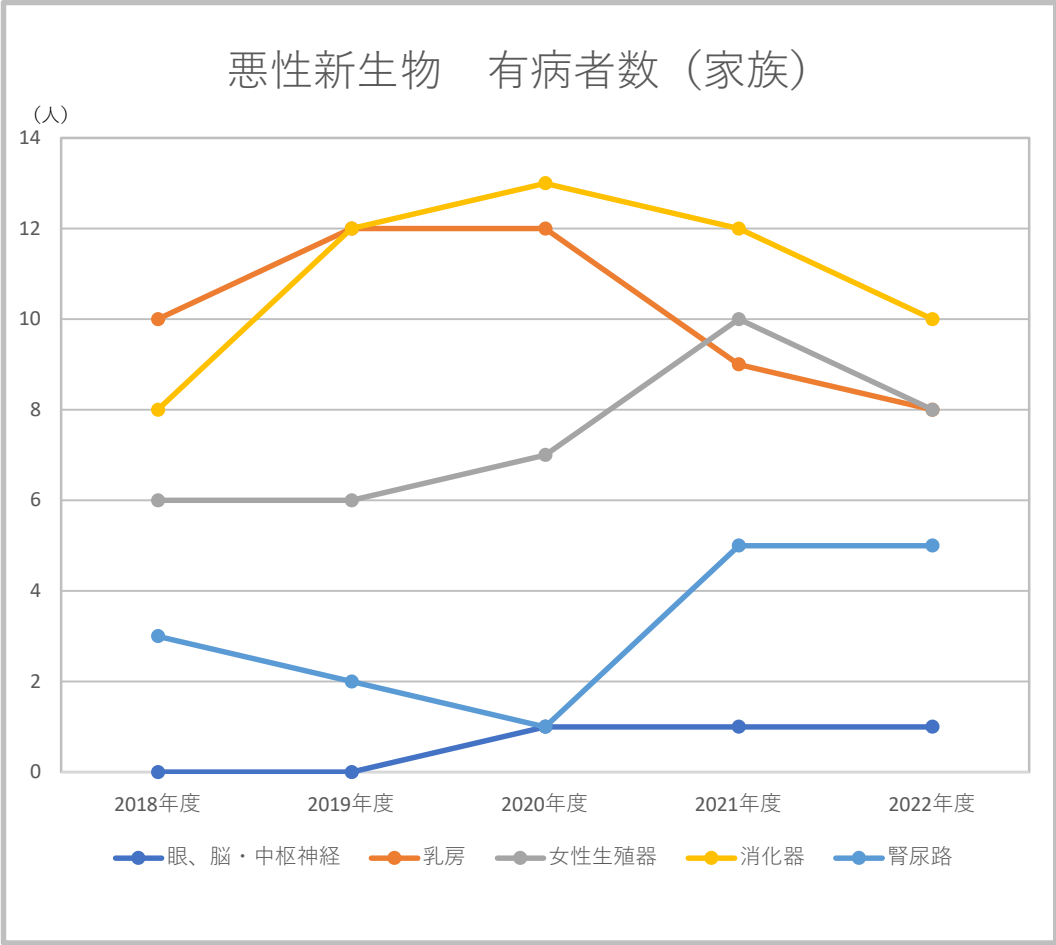
悪性新生物 医療費総額（本人）



< 有病者数 >
消化器の悪性新生物が突出して多い。
< 医療費総額 >
2020年度から2022年度にかけて乳房の悪性新生物が増加傾向にあるが、女性生殖器の悪性新生物はほぼ横ばいとなっている。

悪性新生物 有病者数と医療費総額（家族）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 悪性新生物 医療費総額上位5疾病を対象に分析）



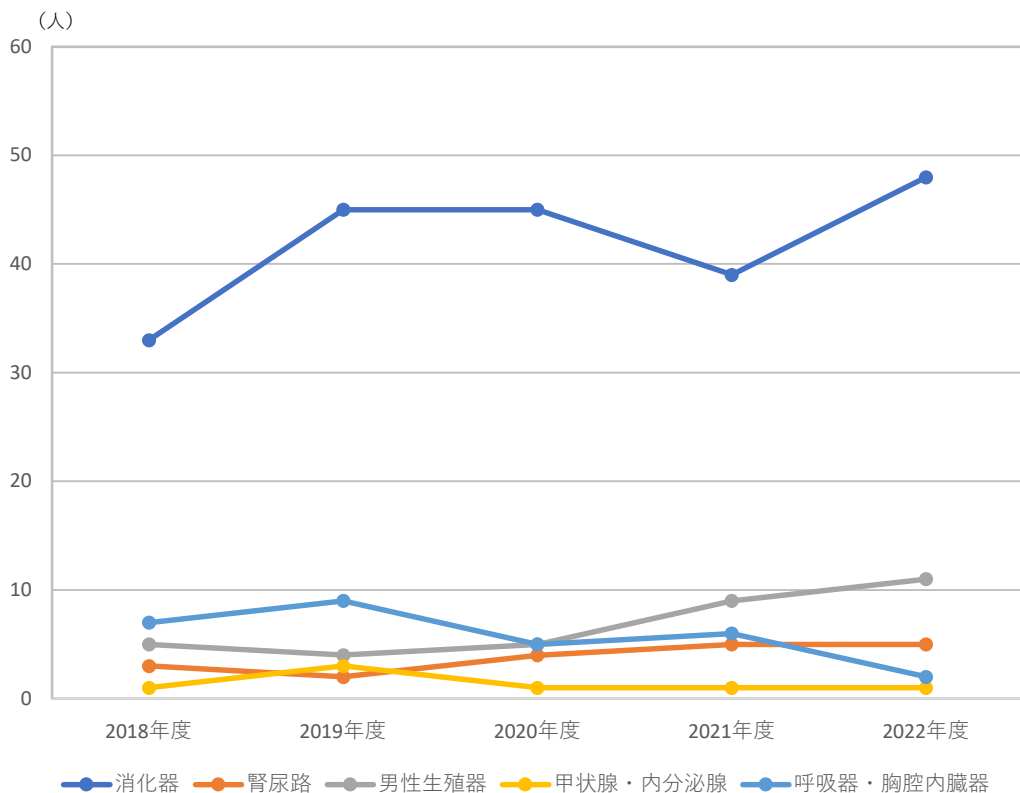
< 有病者数 >
女性生殖器、腎尿路、眼・脳・中枢神経の悪性新生物が増加傾向にある。
乳房の悪性新生物は減少傾向にある。

< 医療費総額 >
眼、脳・中枢神経の悪性新生物は2020年度から2021年度にかけて急増し、2018年度から見ても増加傾向にある。

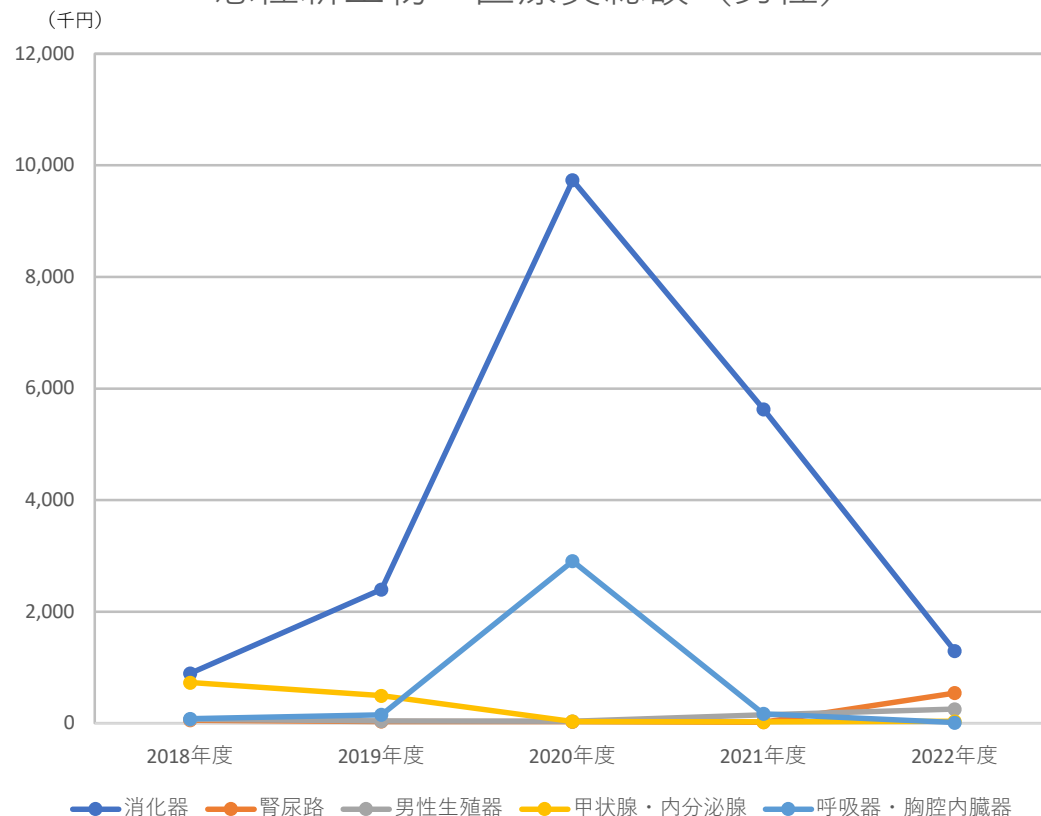
悪性新生物 有病者数と医療費総額（男性）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
 （2022年度 悪性新生物 医療費総額上位5疾病を対象に分析）

悪性新生物 有病者数（男性）



悪性新生物 医療費総額（男性）



<有病者数>

消化器の悪性新生物が突出して多く、推移としては増加傾向にある。

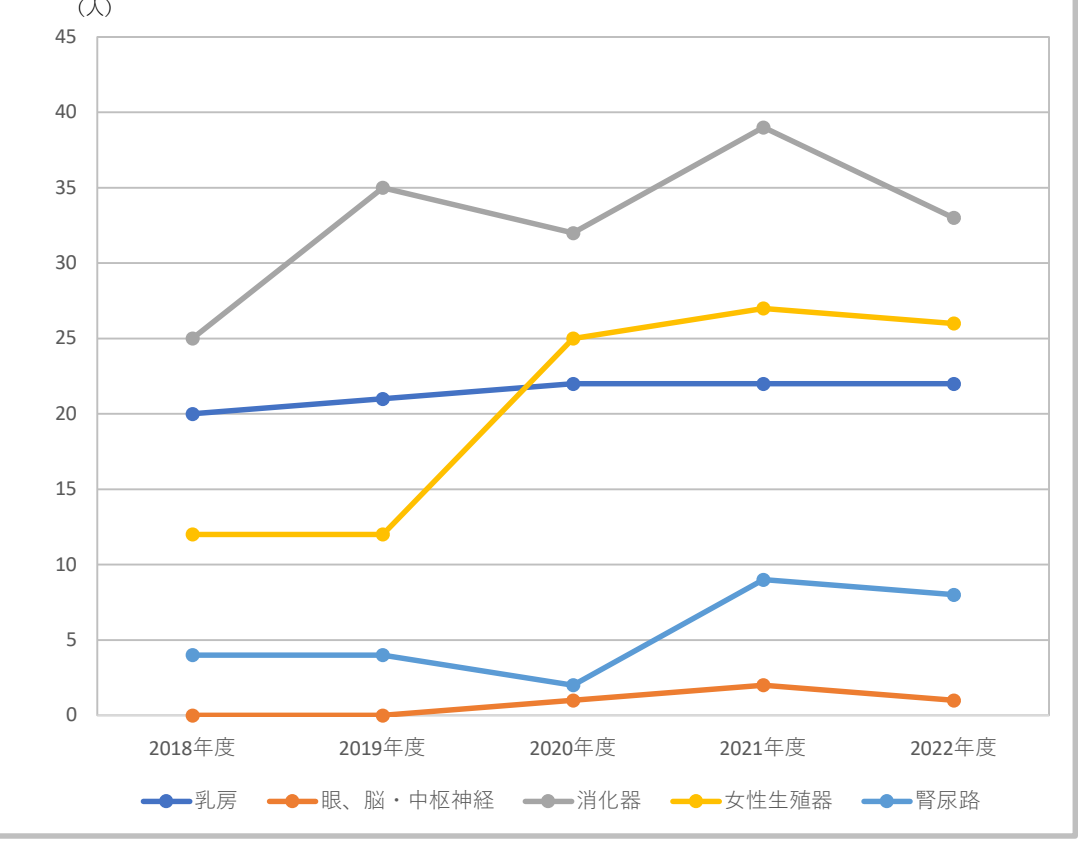
<医療費総額>

消化器と呼吸器・胸腔内臓器ともに2020年度に急増しているが、2018年度から2022年度で見るとほぼ変化していない。

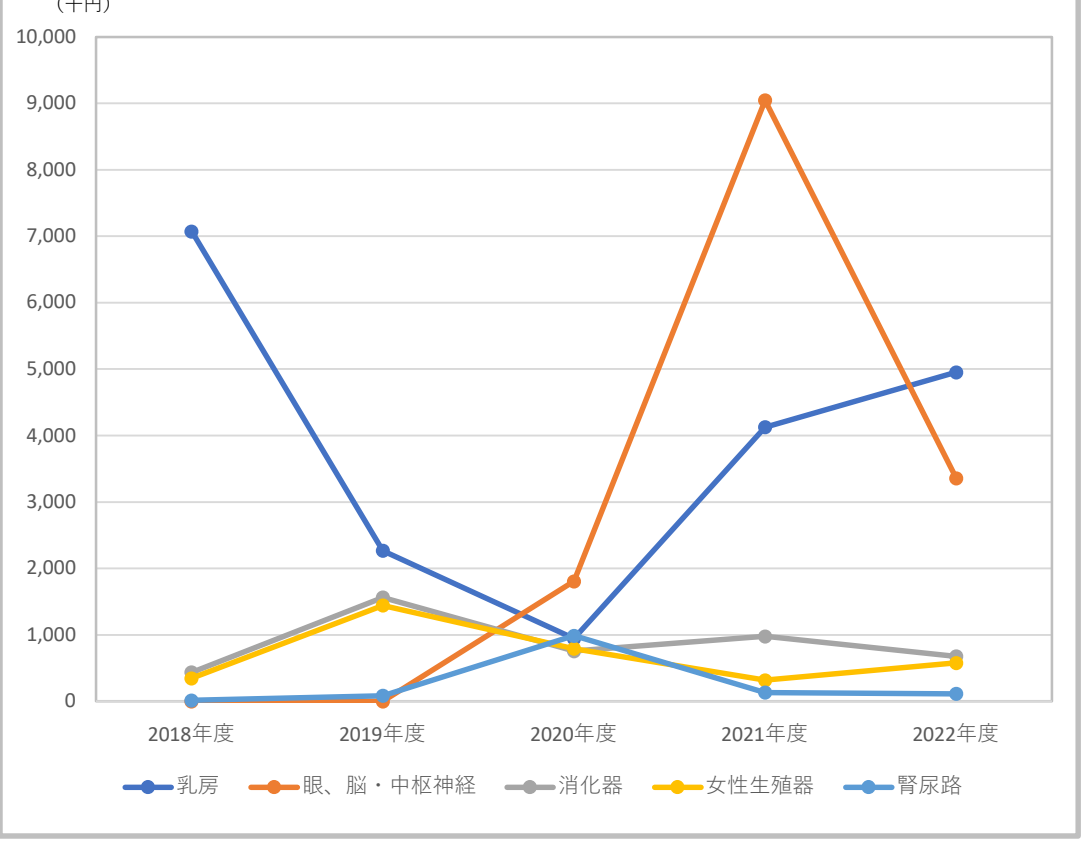
悪性新生物 有病者数と医療費総額（女性）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 悪性新生物 医療費総額上位5疾病を対象に分析）

悪性新生物 有病者数（女性）



悪性新生物 医療費総額（女性）

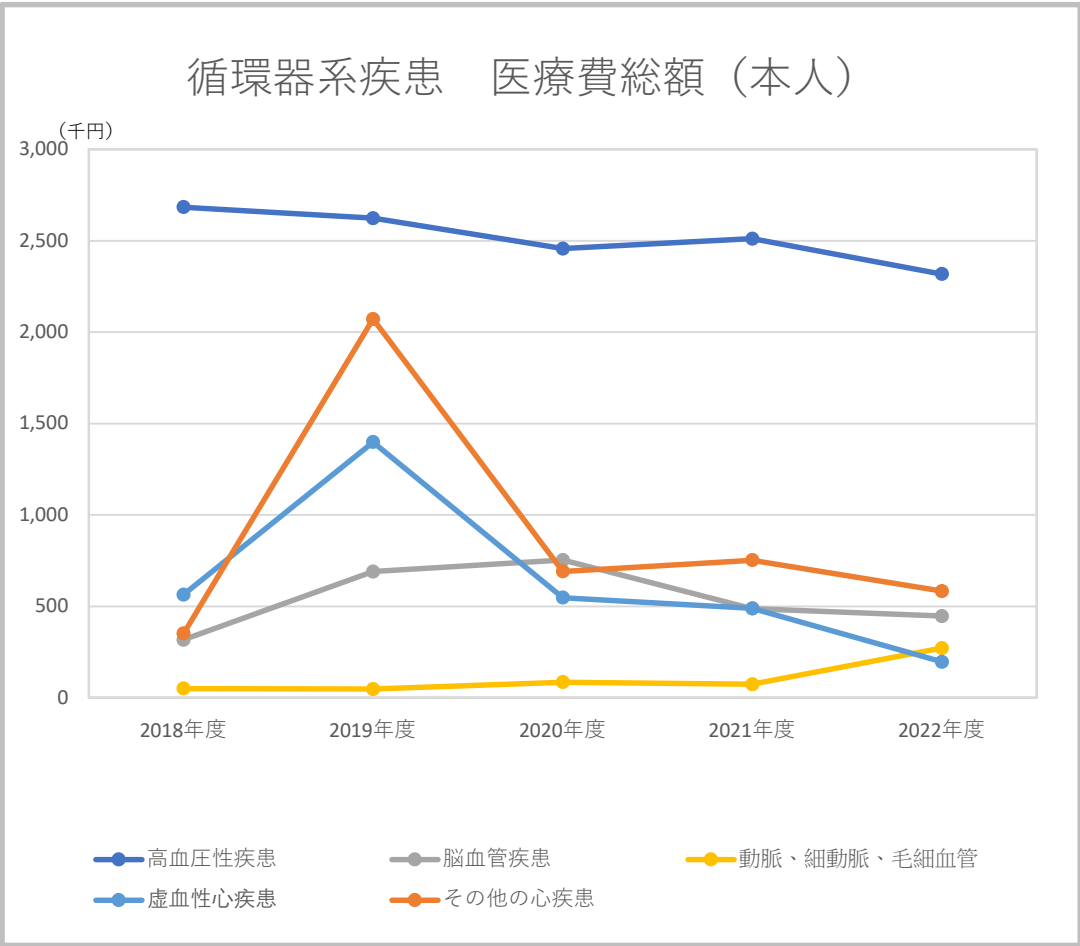
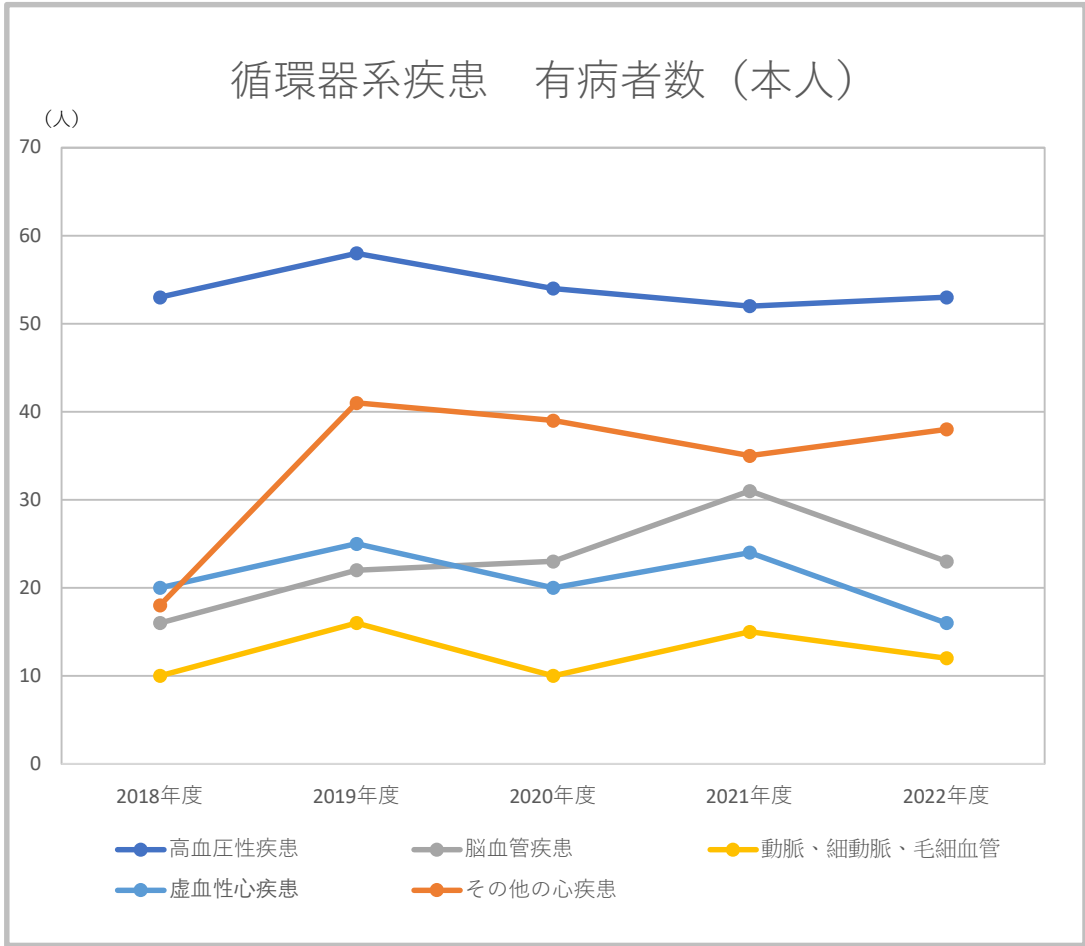


＜有病者数＞
消化器の悪性新生物がもっとも多い。
消化器と女性の生殖器の悪性新生物が増加傾向にある。

＜医療費総額＞
眼、脳・中枢神経の悪性新生物が増加傾向にある。

循環器系疾患 有病者数と医療費総額（本人）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 循環器系疾患 医療費総額上位5疾病を対象に分析）

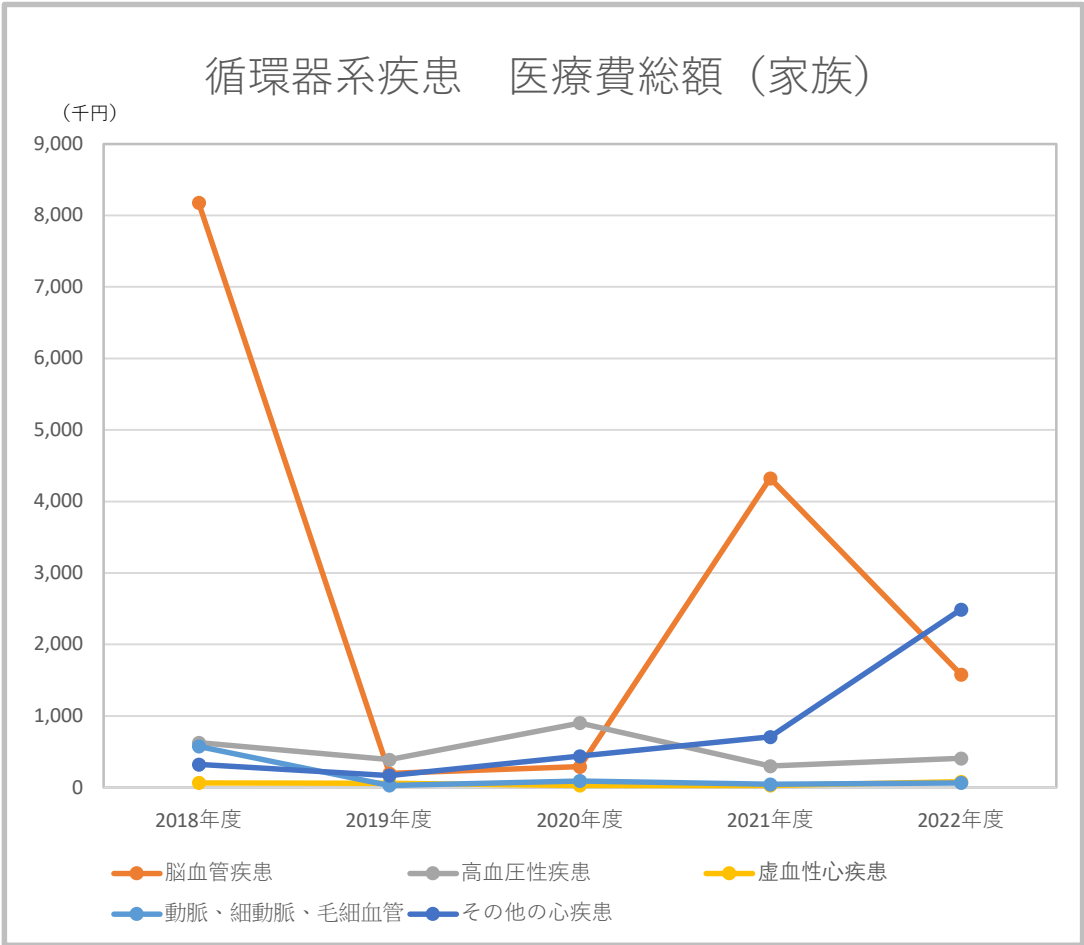
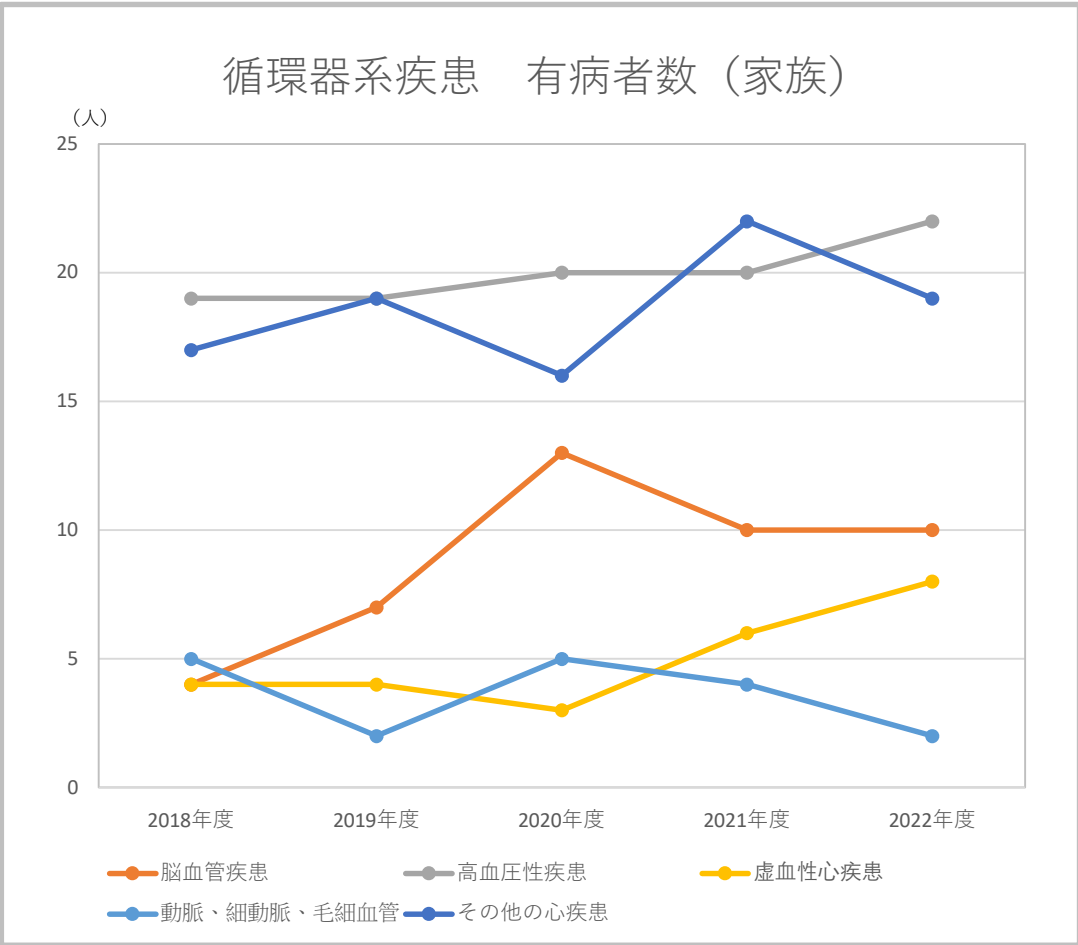


<有病者数>
高血圧性疾患が最も多いが、推移としてはほぼ横ばいとなっている。

<医療費総額>
高血圧性疾患が最も多いが、推移としては緩やかな減少傾向にある。
動脈・細動脈・毛細血管の疾患が緩やかな増加傾向にある。

循環器系疾患 有病者数と医療費総額（家族）

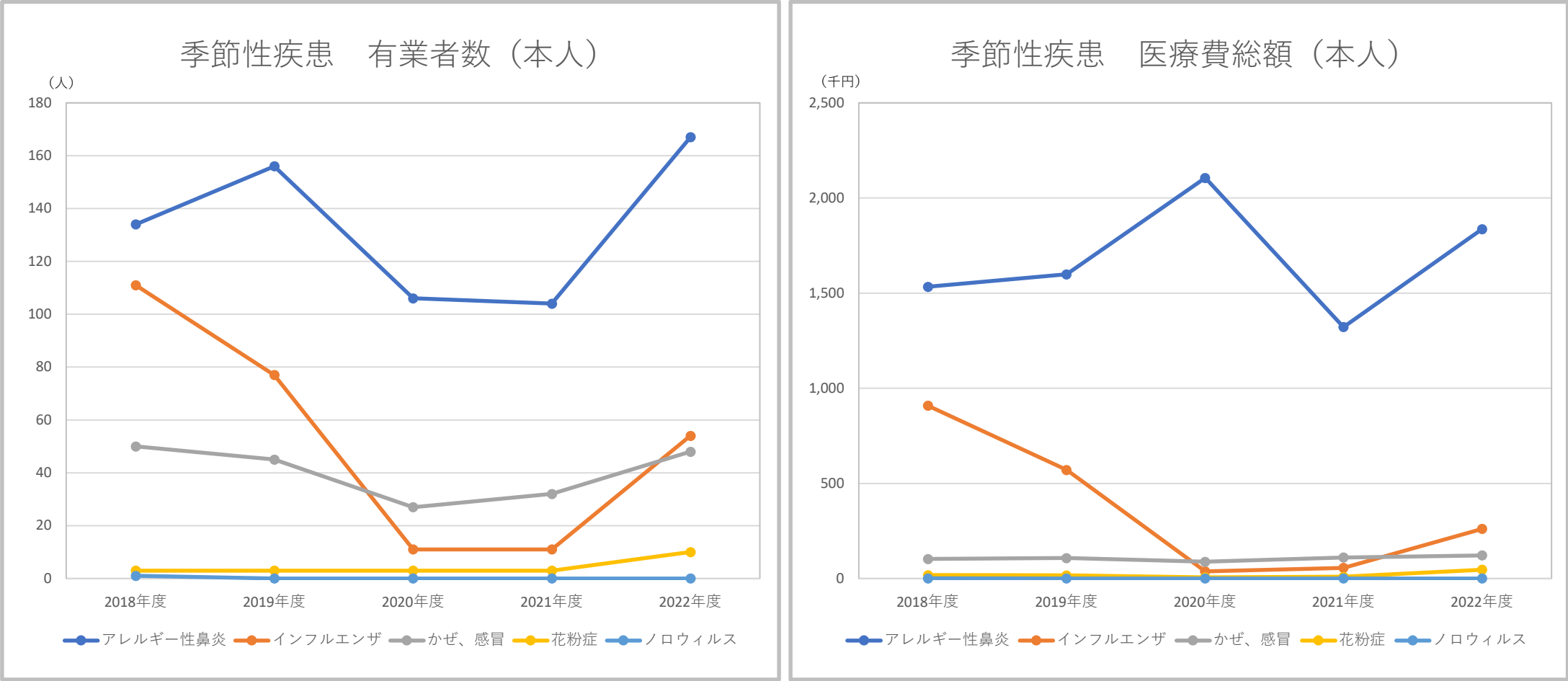
（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 循環器系疾患 医療費総額上位5疾病を対象に分析）



<有病者数>
脳血管疾患、高血圧性疾患、虚血性心疾患が増加傾向にある。
<医療費総額>
脳血管疾患の増減の推移が激しい。
その他主要な疾患はほぼ横ばいとなっている。

季節性疾患 有病者数と医療費総額（本人）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 季節性疾患 医療費総額上位5疾病を対象に分析）

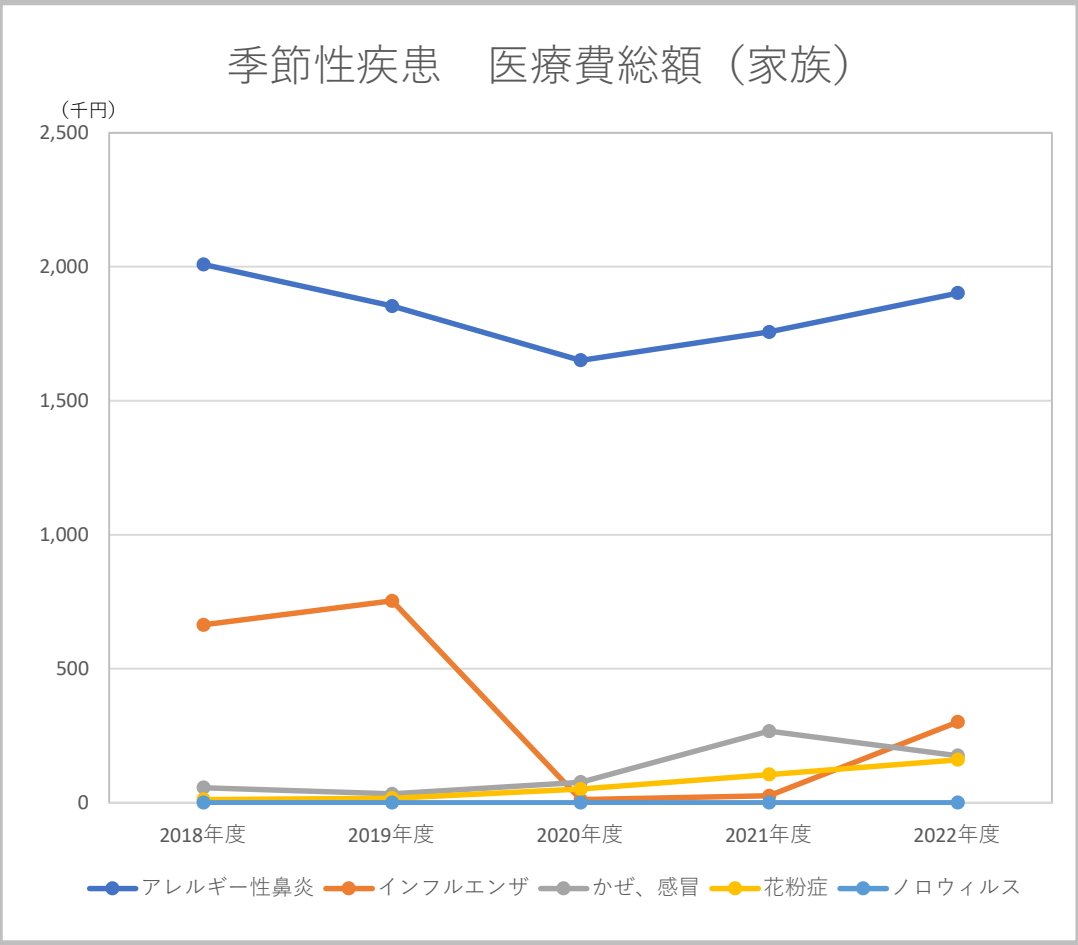
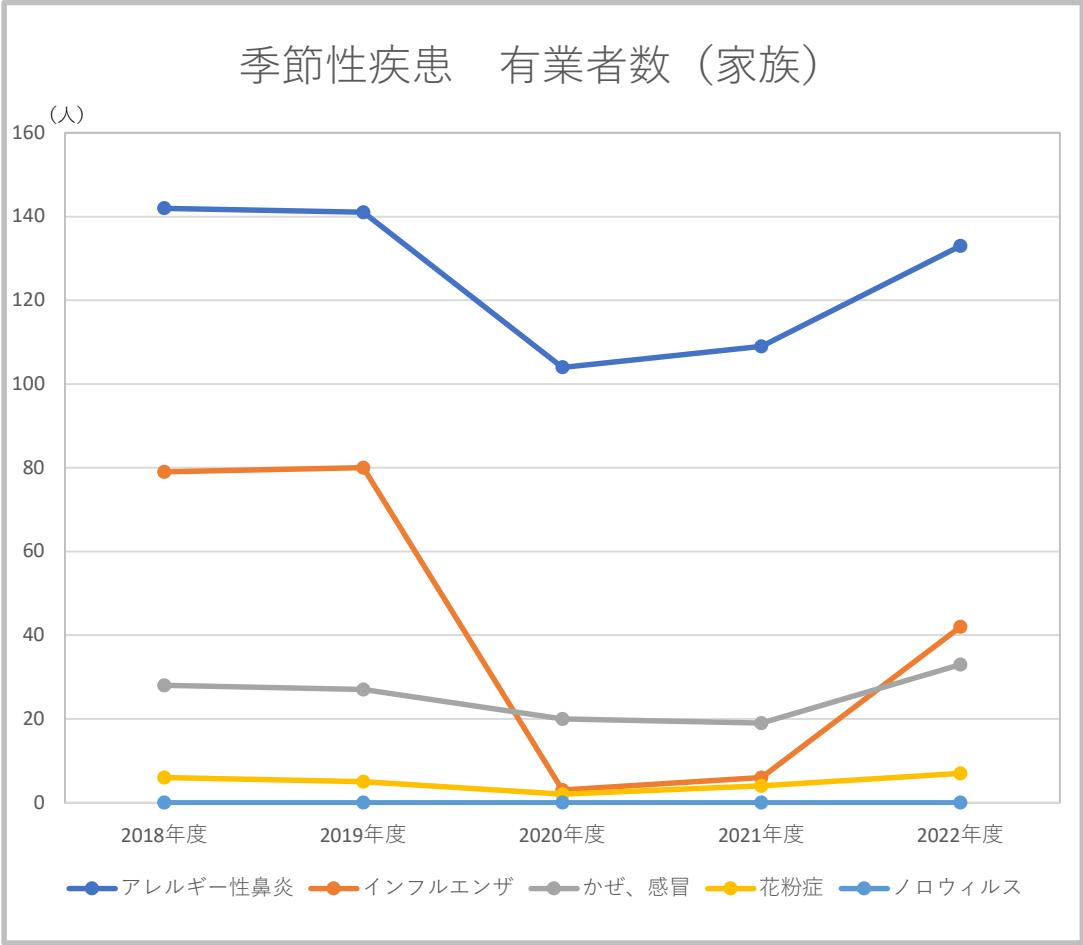


＜有病者数＞
アレルギー性鼻炎が突出して多い。
かぜ、感冒、花粉症、ノロウイルスについてはほぼ横ばいとなっている。

＜医療費総額＞
アレルギー性鼻炎が突出して高い。
かぜ、感冒、花粉症、ノロウイルスについてはほぼ横ばいとなっている。

季節性疾患 有病者数と医療費総額（家族）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 季節性疾患 医療費総額上位5疾病を対象に分析）



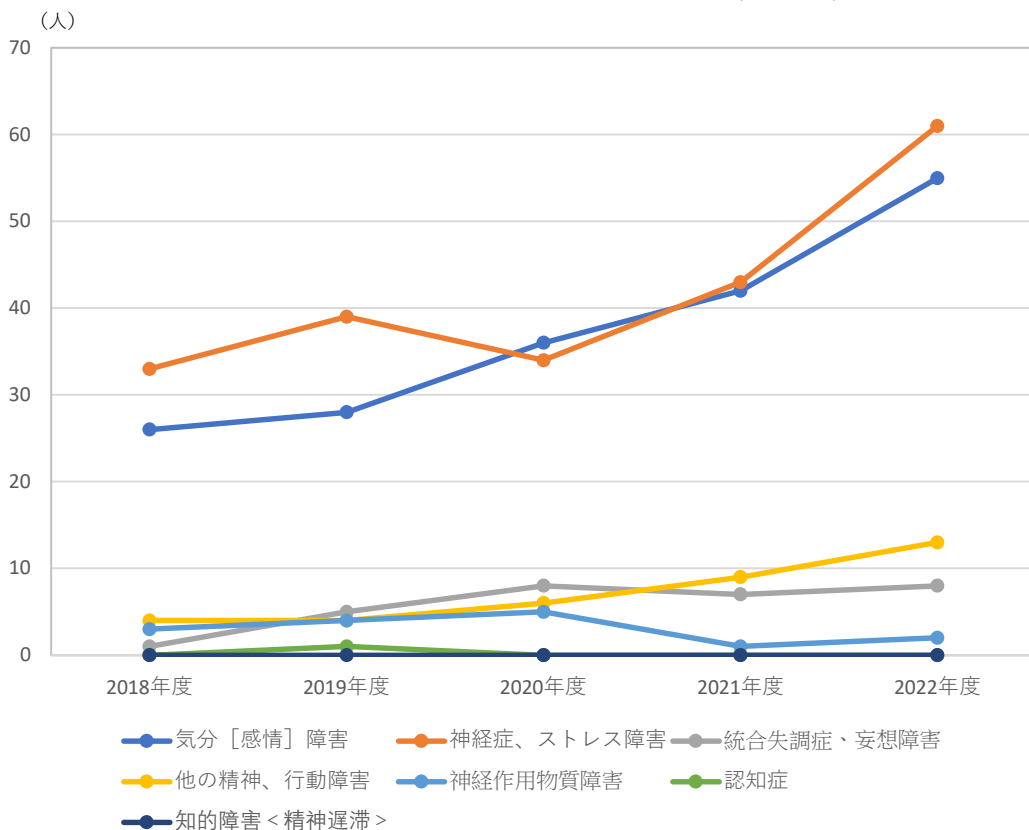
<有病者数>
アレルギー性鼻炎が突出して多い。
かぜ、感冒、花粉症、ノロウイルスについてはほぼ横ばいとなっている。

<医療費総額>
アレルギー性鼻炎が突出して高い。
かぜ、感冒、花粉症、ノロウイルスについてはほぼ横ばいとなっている。

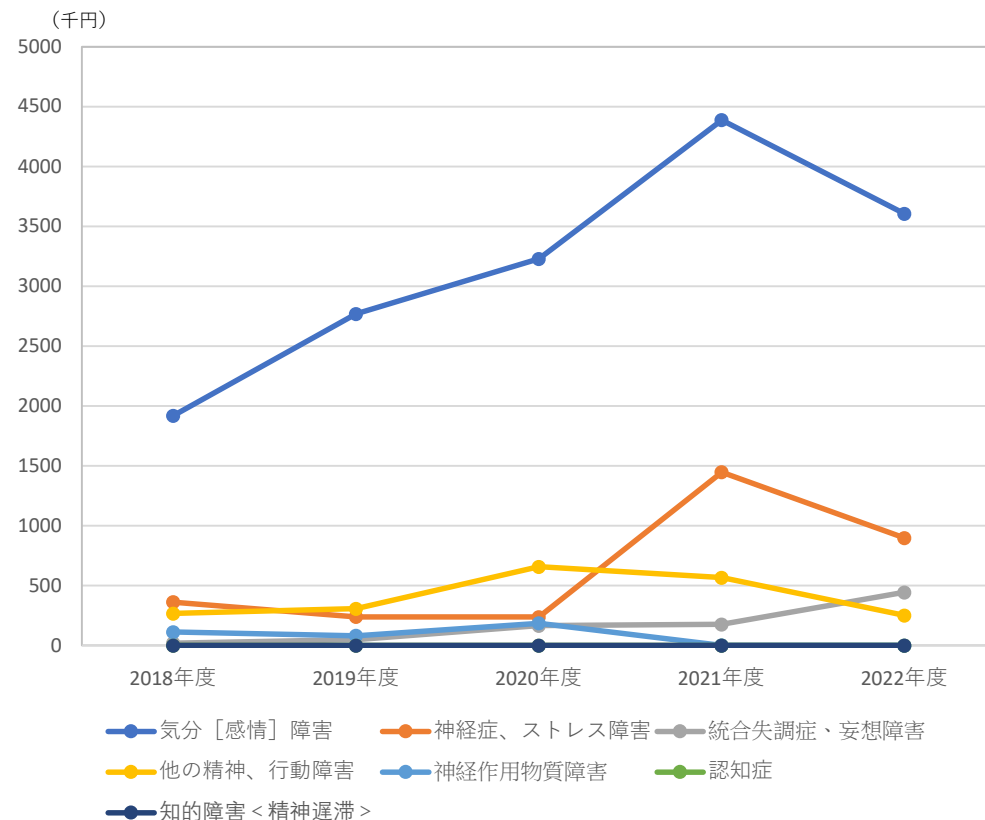
メンタル系疾患 有病者数と医療費総額（本人）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 メンタル系疾患 医療費総額上位5疾病を対象に分析）

メンタル系疾患 有病者数（本人）



メンタル系疾患 医療費総額（本人）



<有病者数>

神経症・ストレス障害、気分〔感情〕障害が多く、推移としては増加傾向にある。

<医療費総額>

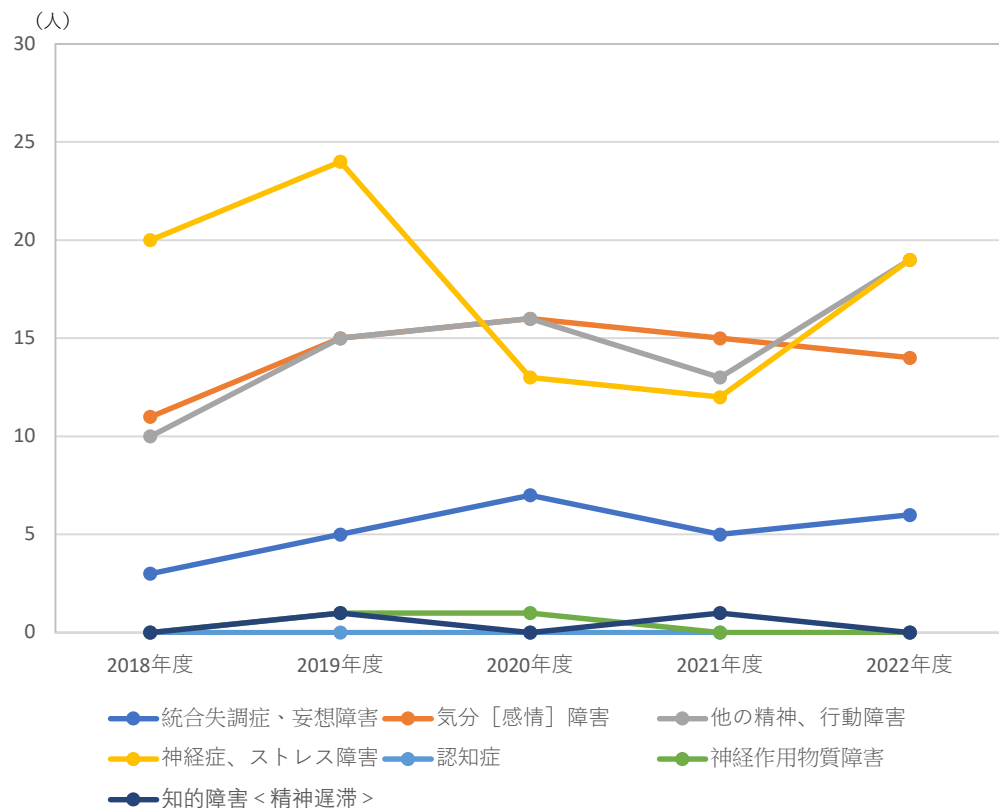
気分〔感情〕障害が突出して高い。

気分〔感情〕障害と神経症、ストレス障害が増加傾向にある。

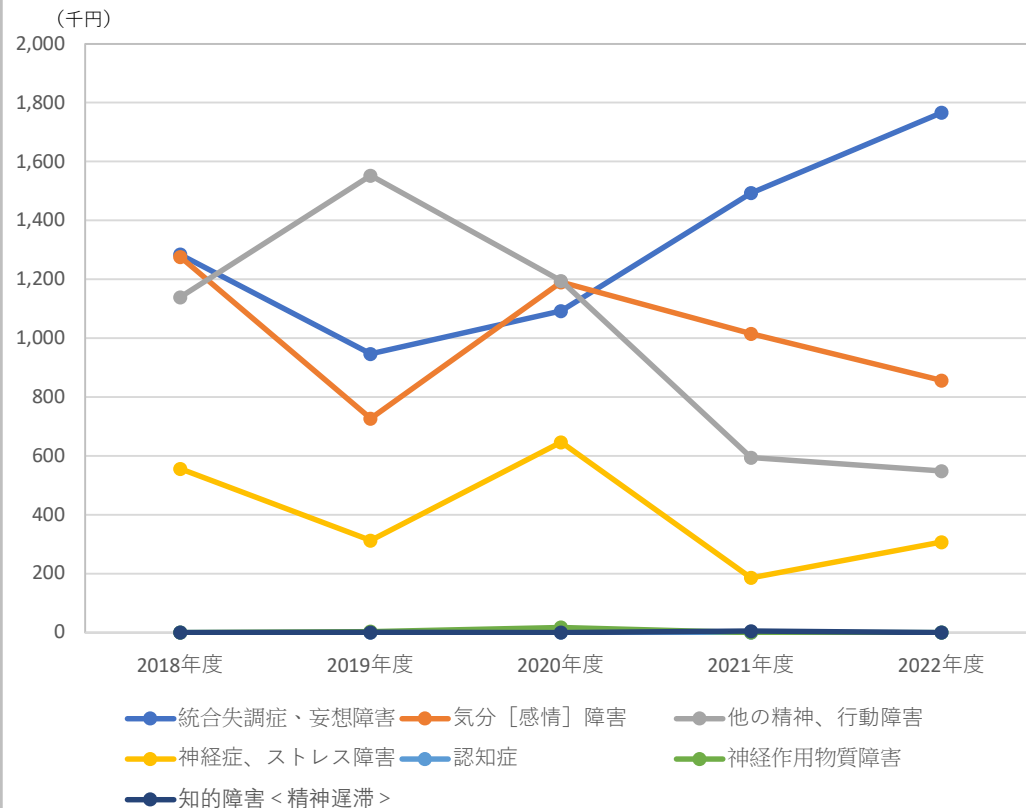
メンタル系疾患 有病者数と医療費総額（家族）

（グラフ集計期間:2018～2022年度 歯科除く）
（2022年度 メンタル系疾患 医療費総額上位5疾病を対象に分析）

メンタル系疾患 有病者数（家族）



メンタル系疾患 医療費総額（家族）



<有病者数>

気分〔感情〕障害、統合失調症・妄想障害が緩やかな増加傾向にある。

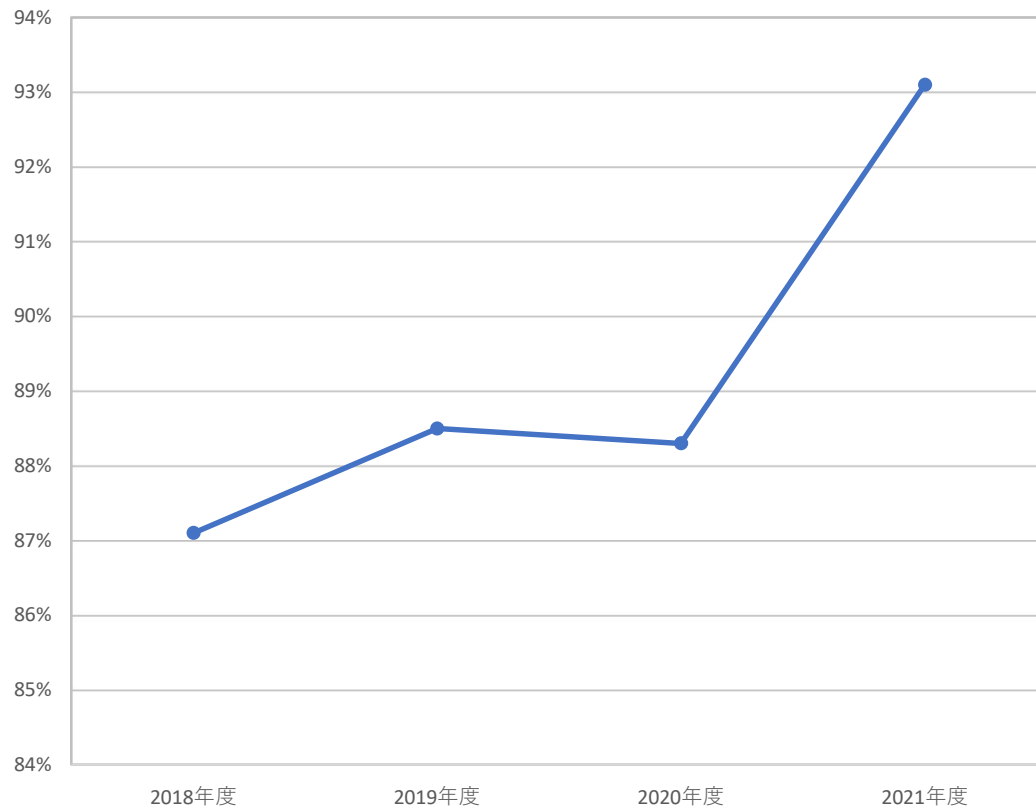
<医療費総額>

統合失調症・妄想障害が増加傾向にある。

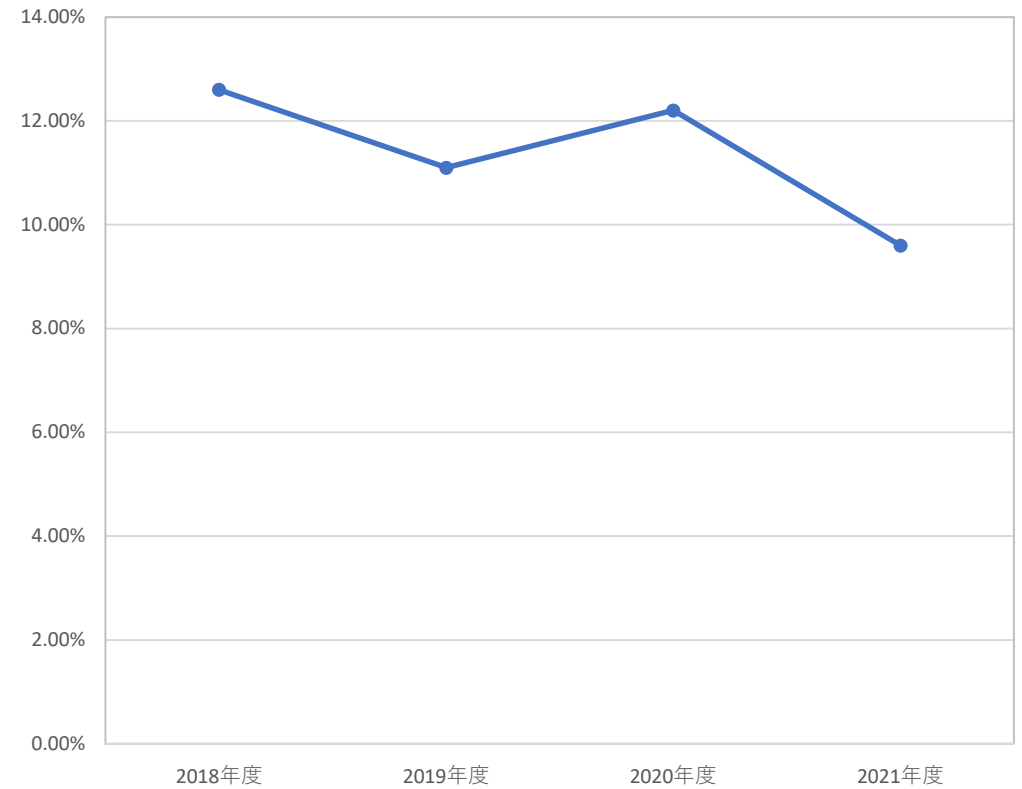
特定健診 受診率と内臓脂肪症候群該当者割合（組合全体）

（グラフ集計期間:2018～2021年度）

特定健診受診率（組合全体）



内臓脂肪症候群該当者割合（組合全体）



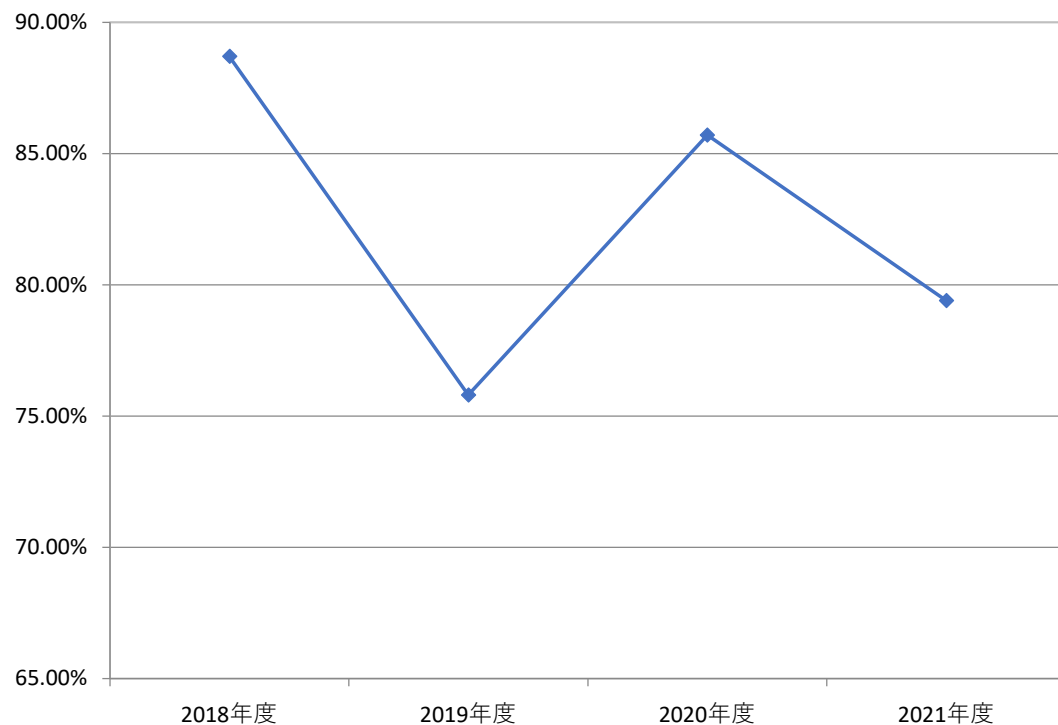
受診率については、増加傾向にある。

内臓脂肪症候群該当者については、減少傾向にある。

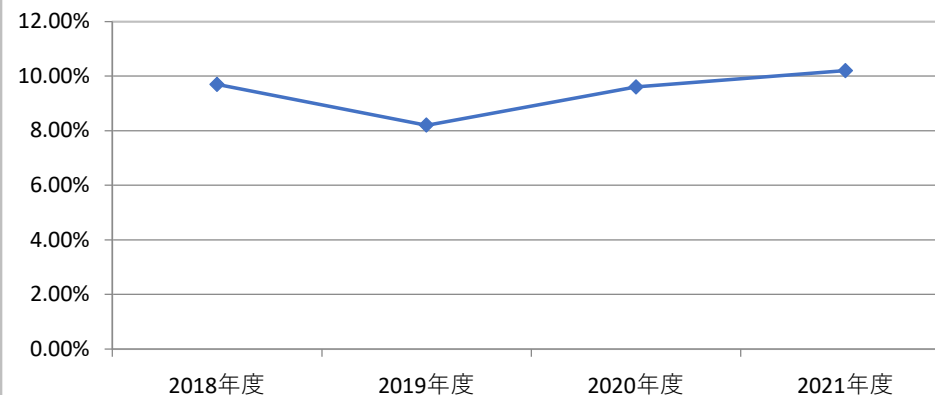
特定保健指導 終了割合と対象者割合（組合全体）

（グラフ集計期間:2018～2021年度）

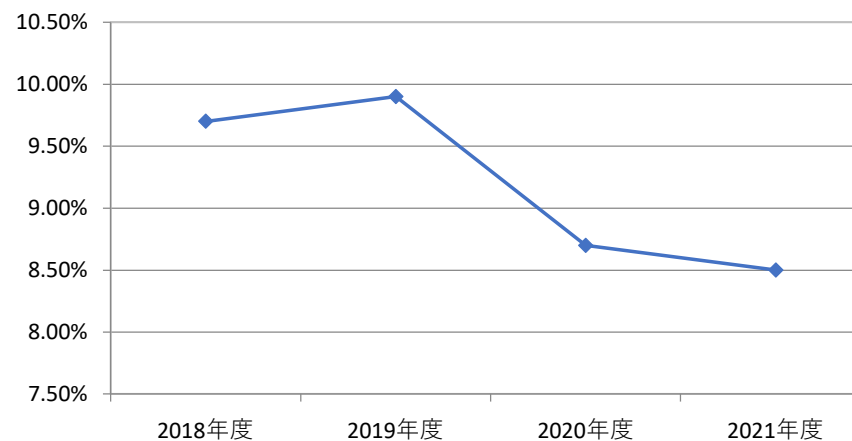
特定健診保健指導 終了割合（組合全体）



積極的支援対象者割合（組合全体）



動機付け支援対象者割合（組合全体）



終了割合については、増減推移が激しいが、減少傾向にある。

積極的支援対象者割合についてはほぼ横ばいとなっている。

動機付け支援対象者割合については減少傾向にある。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ウ, エ, オ, ケ	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。 本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。 家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。	➡	当組合は特定健診費用とがん検診費用を負担しており、がん検診に関しては検査項目が充実しており、健診体制は整っていると判断している。 がん検診受診で、所見ありの判定を受けた特定の加入者をターゲットとして、その対象者の医療費を年度毎に調査し、がん検診に疾病の早期発見・早期治療の効果があるのか測定を行う。	✓
2	イ	組合全体の歯科の医療費は増加傾向にあり、特に本人の歯科医療費が増加傾向にある。	➡	健保連主体事業のDケア30を活用し、むし歯や歯周病等の重症化予防を推進する。 無料の歯科予防健診の提供を行い、むし歯や歯周病等の早期発見・早期治療を推進する。	
3	カ	本人で運動習慣のある方の割合が少なく（37%）、20歳からの体重変化があった方の割合が高い（49%）。 本人については、喫煙習慣や飲酒習慣がある方も多く体重変化に影響を与えていると考えられる。	➡	スポーツ大会等の参加費補助やウォーキングプログラムの実施などで、体育推奨を行うことで、運動習慣の定着を目指す。 禁煙活動の補助を行い、禁煙しやすい体制を整備する。	
4	キ, ク	生活習慣病の有病者数をみると、本人家族ともに糖尿病と高血圧症が増加傾向にある。 生活習慣病の医療費をみると、本人家族ともに糖尿病が増加傾向にある。	➡	人間ドック健康診断の補助を行い、疾病予防と早期発見、早期治療を推進する。 人間ドック健康診断受診により、糖尿病の発病が判明した特定の加入者をターゲットとして、判定値となる健診項目の数値を年度毎に調査し、人間ドック健康診断に疾病の早期発見・早期治療の効果があるのか測定を行う。	
5	チ	メンタル系疾患の有病者をみると、本人家族ともに「気分〔感情〕障害」が多く、増加傾向にある。 メンタル系疾患の医療費をみると、本人については「気分〔感情〕障害」が突出して高く、増加傾向にあり、家族については「統合失調症・妄想障害」が増加傾向にある。	➡	野球観戦や宿泊施設の利用補助、リゾート利用券の補助などを行い、リフレッシュの機会を設けることで、メンタルケアを行っていく。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
-----	----	--	--------------

1	健保組合には医療専門職が不在。 女性の被保険者は20代が多い。	➡	当組合には医療専門職がおらず、委託業者の活用等で対応を図る必要がある。 女性被保険者は若年層が多い観点から、健診への関心が薄いことが懸念されるため、興味を引きやすいアプローチを行う必要がある。
---	---	---	--

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	家族健診の未受診者へのフォローはできている。 健診受診者へのフォローはできている。 加入者の居住範囲が限定されなくなったことにより、特定保健指導のオンライン化が進んでいる。	➡	家族健診については引き続きアナウンス等を行い、受診率向上を目指す。 引き続き健康診断後の再検査費用の補助を行うことで、二次健診を受けやすい体制を整備する。 事業主と連携して、健診結果の回収漏れがないようにする。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 特定健診や保健指導、各種検診を実施することで加入者の健康維持・重症化予防を行う。	事業全体の目標 生活習慣病や悪性新生物についての重症化予防（医療費の削減）
--	---

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	歯の予防健診
保健指導宣伝	育児読本
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック
保健指導宣伝	健康管理に関するパンフレット等の配布
疾病予防	人間ドック補助
疾病予防	家族健診
疾病予防	がん検診
疾病予防	こころとからだの健康相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	禁煙チャレンジ
疾病予防	重症化予防
疾病予防	わかりやすい健診結果
疾病予防	健康診断後の再検査費用支援
疾病予防	宿泊施設等利用補助
疾病予防	常備薬の斡旋
疾病予防	マッサージルーム
疾病予防	野球観戦シート
疾病予防	リゾート施設利用補助
疾病予防	衛生用品の提供
疾病予防	定年社員への書籍配布
体育奨励	スポーツ大会等参加費補助
体育奨励	ウォーキングプログラム
体育奨励	運動促進（ゴルフ）

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
個別の事業																				
特定健康診査事業	3,4	既存（法定）	特定健診（被保険者）	全て	男女	40～74	被保険者	2	イ,エ,キ,ク,ケ,サ	-	ア,エ,カ,ク-	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	被保険者の健康維持 疾病の早期発見・早期治療による重症化予防	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。 本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。 家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。
													継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		
	受診率(【実績値】98.0% 【目標値】令和6年度：99.8% 令和7年度：99.8% 令和8年度：99.8% 令和9年度：99.8% 令和10年度：99.8% 令和11年度：99.8%)事業主が行う定期健康診断と併せて実施することで高い受診率を維持する。													改善率(【実績値】21.3% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：21% 令和9年度：21% 令和10年度：23% 令和11年度：23%)特定健診受診者の健診レベルの改善率向上を目指す						
特定健康診査事業	3,4	既存（法定）	特定健診（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ,エ,キ,ク,ケ	-	イ,エ,カ,ク-	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	被扶養者の健康維持 疾病の早期発見・早期治療による重症化予防	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。 本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。 家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。
													継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		
	受診率(【実績値】63.0% 【目標値】令和6年度：74% 令和7年度：74% 令和8年度：75% 令和9年度：75% 令和10年度：76% 令和11年度：76%)特定健診受診率の維持・向上													改善率(【実績値】19.4% 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：17% 令和9年度：17% 令和10年度：19% 令和11年度：19%)特定健診受診者の健診レベルの改善率向上を目指す						
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,エ,キ,ク,ケ,ス	-	ア,エ,カ,ク-	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	加入者の健康維持 生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。 本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。 家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。
													継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		
	実施率(【実績値】83.0% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：65% 令和8年度：70% 令和9年度：75% 令和10年度：80% 令和11年度：85%)継続して高い実施率を維持する。													改善率(【実績値】30.4% 【目標値】令和6年度：44% 令和7年度：45% 令和8年度：46% 令和9年度：47% 令和10年度：48% 令和11年度：49%)特定保健指導受診者の保健指導レベル改善率向上を目指す						
保健指導宣伝	3	既存	歯の予防健診	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ウ,キ,ク,ケ,ス	-	ア,カ,ク-	-	第2期計画より継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	むし歯や歯周病等の早期発見・早期治療による重症化予防	組合全体の歯科の医療費は増加傾向にあり、特に本人の歯科医療費が増加傾向にある。
													継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		
	Dケア30利用人数(【実績値】21人 【目標値】令和6年度：23人 令和7年度：23人 令和8年度：23人 令和9年度：23人 令和10年度：23人 令和11年度：23人)一定数の利用者数を維持する													1人当たり医療費(【実績値】- 【目標値】令和6年度：155,000円 令和7年度：155,000円 令和8年度：155,000円 令和9年度：155,000円 令和10年度：155,000円 令和11年度：155,000円)組合全体の1人当たり歯科医療費の抑制						
2,5	既存	育児読本	全て	女性	20～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ク	-	ク	-	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	育児サポート	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		
配布率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)配布率100%を維持する													休日・時間外を受診件数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：28件 令和7年度：28件 令和8年度：28件 令和9年度：28件 令和10年度：28件 令和11年度：28件)0～4歳の休日・時間外を受診件数の抑制							
													-	-	-	-	-	-		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連								
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画															
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度										
アウトプット指標													アウトカム指標															
	2,5	既存	医療費通知	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	-	ア,ク	-	Web医療費通知の導入	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	医療費の内訳を確認することで疾病の状況など自らの健康状況を把握していただく。	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。 本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。 家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。								
配信回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-														頻回受診の対象者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：28人 令和7年度：28人 令和8年度：28人 令和9年度：26人 令和10年度：26人 令和11年度：26人)頻回受診者数の抑止（4月～6月診療分で1ヶ月に7回以上。延べ人数。）														
	7	既存	ジェネリック	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員,基 準該当 者	1	キ,ク	-	ア,ク	-	Webジェネリック医薬品通知の導入	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	調剤医療費の抑止	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。 本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。 家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。								
配信回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-														使用率(【実績値】 72.5% 【目標値】 令和6年度：88% 令和7年度：88% 令和8年度：88% 令和9年度：88% 令和10年度：88% 令和11年度：88%)ジェネリック使用率の向上														
	2	既存	健康管理に関するパンフレット等の配布	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	-	ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	健康管理に関するパンフレットを配布することで健康意識の醸成を計る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）								
配布率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 配布率100%を維持する														健康管理に関するパンフレットの配布は健康意識の醸成による疾病予防を目的としており、健康意識の醸成状況を数値で把握することは困難と考えられるため (アウトカムは設定されていません)														
疾病 予防	3	既存	人間ドック補助	全て	男女	20 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ウ,キ,ク,ケ	-	カ,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	健康状態の把握 疾病の早期発見・早期治療による重症化予防	生活習慣病の有病者数をみると、本人家族ともに糖尿病と高血圧症が増加傾向にある。 生活習慣病の医療費をみると、本人家族ともに糖尿病が増加傾向にある。								
	受診者数(【実績値】 94人 【目標値】 令和6年度：155人 令和7年度：155人 令和8年度：155人 令和9年度：165人 令和10年度：165人 令和11年度：165人) 受診者数の増加														生活習慣病罹患患者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：420人 令和7年度：420人 令和8年度：420人 令和9年度：420人 令和10年度：420人 令和11年度：420人)組合全体の生活習慣病の罹患患者数（延べ人数）の抑止													
	3	既存	家族健診	全て	男女	20 ～ 74	被扶養 者	1	イ,ウ,キ,ク,ケ,シ	-	カ,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	配偶者及び40歳以上の被扶養者について生活習慣病・がんの早期発見・早期治療による重症化予防を行う	生活習慣病の有病者数をみると本人家族ともに糖尿病と高血圧症が増加傾向にある。 生活習慣病の医療費をみると、本人家族ともに糖尿病が増加傾向にある。								
	健診者数(【実績値】 89人 【目標値】 令和6年度：100人 令和7年度：100人 令和8年度：100人 令和9年度：110人 令和10年度：110人 令和11年度：110人) 周知を行うことで受診率の向上を目指す														生活習慣病罹患患者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：90人 令和7年度：90人 令和8年度：90人 令和9年度：90人 令和10年度：90人 令和11年度：90人)被扶養者の生活習慣病の罹患患者数（延べ人数）の抑止													
	3	既存	がん検診	全て	男女	30 ～ 74	被保険 者	2	イ,ウ,キ,ク,ケ,シ	-	ア,カ,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	がんの早期発見・早期治療による重症化予防	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。 本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。 家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。								
受診率(【実績値】 98.0% 【目標値】 令和6年度：98.5% 令和7年度：98.5% 令和8年度：98.5% 令和9年度：98.5% 令和10年度：98.5% 令和11年度：98.5%) 受診率を維持する（事業主が行う定期健康診査と併せて実施）														医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：7,500千円 令和7年度：7,500千円 令和8年度：7,500千円 令和9年度：7,400千円 令和10年度：7,400千円 令和11年度：7,400千円)被保険者の悪性新生物医療費の減少														

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象 事業所	性別	年 齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
5,6	既存		こころとからだの健康相談	全て	男女	20 ～ 74	被保険者,被扶養者	1	ケ,ス	-		ア,カ,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	一般疾病とメンタル2種類について早期対応による重症化予防	メンタル系疾患の有病者をみると、本人家族ともに「気分〔感情〕障害」が多く、増加傾向にある。メンタル系疾患の医療費をみると、本人については「気分〔感情〕障害」が突出して高く、増加傾向にあり、家族については「統合失調症・妄想障害」が増加傾向にある。		
相談件数(【実績値】4件 【目標値】令和6年度：6件 令和7年度：6件 令和8年度：6件 令和9年度：6件 令和10年度：6件 令和11年度：6件)周知を行い引き続き健康相談を利用していただく												メンタル系疾患罹患患者数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：135人 令和7年度：135人 令和8年度：135人 令和9年度：135人 令和10年度：135人 令和11年度：135人)被保険者のメンタル系疾患の罹患患者数の抑止											
8	既存		インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	0 ～ 74	加入者全員	1	ケ	-		カ	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	インフルエンザの予防接種を行うことで発症を予防する	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
利用率(【実績値】73% 【目標値】令和6年度：65% 令和7年度：65% 令和8年度：67% 令和9年度：67% 令和10年度：69% 令和11年度：69%)接種率の増加（接種者数／加入者数）												罹患患者数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：95人 令和7年度：95人 令和8年度：95人 令和9年度：90人 令和10年度：90人 令和11年度：90人)インフルエンザ罹患患者数の減少											
5	既存		禁煙チャレンジ	全て	男女	20 ～ 74	被保険者	1	ク,ケ	-		イ,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	喫煙者の減少（非喫煙者の増加）	本人で運動習慣のある方の割合が少なく（37%）、20歳からの体重変化があった方の割合が高い（49%）。 本人については、喫煙習慣や飲酒習慣がある方も多く体重変化に影響を与えていると考えられる。		
配布率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)特定健診のデータに基づき、40歳以上の喫煙者に対し案内文章と禁煙パンフレットを送付する												非喫煙者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：73% 令和7年度：73% 令和8年度：74% 令和9年度：74% 令和10年度：75% 令和11年度：75%)被保険者の非喫煙者の割合の増加											
4	既存		重症化予防	全て	男女	40 ～ 74	被保険者,基準該当者	1	イ,キ,ク,ケ	-		ア,カ,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	服薬中の方に対しても保健指導を実施することで、重症化する方を減らしていく	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。		
受診者数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：7人 令和7年度：7人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：13人 令和11年度：13人)受診者数の増加												特定保健指導のアウトカム指標と重複する為、ここでは設定しない(アウトカムは設定されていません)											
5	既存		わかりやすい健診結果	全て	男女	40 ～ 74	被保険者	3	エ,キ,ク	-		カ,ク	-	Webでの健診結果通知の導入	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	加入者の健診結果を従来より分かりやすい形で提供することで自らの健康状態を正確に把握してもらい、健康意識の向上を計る	生活習慣病の有病者数をみると、本人家族ともに糖尿病と高血圧症が増加傾向にある。生活習慣病の医療費をみると、本人家族ともに糖尿病が増加傾向にある。		
配信回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：10回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)特定健診受診者へ健診結果の配信を行う												わかりやすい健診結果の提供は、加入者の健康意識の向上であり、その成果を具体的数で把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
4	既存		健康診断後の再検査費用支援	全て	男女	20 ～ 74	被保険者	1	イ,ウ,キ,ク,ケ	-		ア,カ,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	健診後の再検査費用を補助することで、再検査を受けやすい状況を整備 重症化予防をより積極的に行う	組合全体の医療費を傷病別にみると、「新生物」が最も高く、次いで「呼吸器系疾患」が高い。本人の医療費を傷病別にみると、「新生物」「消化器系疾患」「呼吸器系疾患」の順で高い。家族の医療費を傷病別にみると、「呼吸器系疾患」が最も高く、次いで「新生物」が高い。 悪性新生物の有病者数をみると、本人については「消化器」が突出して多く、増加傾向にある。		
受診者数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：35人 令和7年度：35人 令和8年度：40人 令和9年度：40人 令和10年度：45人 令和11年度：45人)再検査受診者数の増加												健康診断後の再検査費用支援の目的は、健診結果の改善や疾病の早期発見・早期治療であり、この事業の成果は他の事業の成果を重複する為ここでは設定しない(アウトカムは設定されていません)											
														-	-	-	-	-	-				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						実施計画											
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度						
アウトプット指標												アウトカム指標											
	5	既存	宿泊施設等利用補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	-	シ	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	宿泊施設を利用しやすい環境を整備することで心身のリフレッシュを行う機会を提供する	メンタル系疾患の有病者をみると、本人家族ともに「気分〔感情〕障害」が多く、増加傾向にある。メンタル系疾患の医療費をみると、本人については「気分〔感情〕障害」が突出して高く、増加傾向にあり、家族については「統合失調症・妄想障害」が増加傾向にある。			
利用者数(【実績値】92人 利用者数の増加を目指す												【目標値】令和6年度：140人 令和7年度：140人 令和8年度：145人 令和9年度：145人 令和10年度：150人 令和11年度：150人) 宿泊施設の利用補助は心身のリフレッシュを目的としており、その成果を数値で把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
	8	既存	常備薬の斡旋	全て	男女	20～74	被保険者	1	ケ,サ	-	ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	常備薬を利用することで疾病やケガについて早急に対応を行える状況を整備する	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
配布率(【実績値】100% 継続して常備薬の斡旋のパンフレットを配布する												【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 常備薬を斡旋することによる成果を数値的に把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	マッサージルーム	一部の事業所	男女	20～74	被保険者	3	ス	-	ア,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	身体の疲労回復 心身のリフレッシュ	メンタル系疾患の有病者をみると、本人家族ともに「気分〔感情〕障害」が多く、増加傾向にある。メンタル系疾患の医療費をみると、本人については「気分〔感情〕障害」が突出して高く、増加傾向にあり、家族については「統合失調症・妄想障害」が増加傾向にある。			
利用者数(【実績値】250人 人)現状利用状況が良いため、現状の利用者数（延べ人数）を維持する												【目標値】令和6年度：675人 令和7年度：675人 令和8年度：675人 令和9年度：675人 令和10年度：675人 令和11年度：675) マッサージルームの開設は身体の疲労回復や心身のリフレッシュを目的としており、その成果を数値で把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	野球観戦シート	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ア	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	心身のリフレッシュ	メンタル系疾患の有病者をみると、本人家族ともに「気分〔感情〕障害」が多く、増加傾向にある。メンタル系疾患の医療費をみると、本人については「気分〔感情〕障害」が突出して高く、増加傾向にあり、家族については「統合失調症・妄想障害」が増加傾向にある。			
利用率(【実績値】77% 率を維持する												【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)高い利用率を維持する 野球観戦は心身のリフレッシュを目的としており、その成果を数値で把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	リゾート施設利用補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	心身のリフレッシュ	メンタル系疾患の有病者をみると、本人家族ともに「気分〔感情〕障害」が多く、増加傾向にある。メンタル系疾患の医療費をみると、本人については「気分〔感情〕障害」が突出して高く、増加傾向にあり、家族については「統合失調症・妄想障害」が増加傾向にある。			
利用促進(【実績値】175人 人)利用者の増加												【目標値】令和6年度：125人 令和7年度：125人 令和8年度：130人 令和9年度：130人 令和10年度：135人 令和11年度：135) リゾート施設利用補助は心身のリフレッシュを目的としており、その成果を数値で把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
	1,8	既存	衛生用品の提供	全て	男女	20～74	被保険者	1	ス	-	ア,ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	風邪やインフルエンザの予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
設置率(【実績値】100% 各拠点にうがい薬・消毒液・マスクを設置することで利用しやすい状況を整備												【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) うがい薬の提供の目的は風邪やインフルエンザの予防だが、他にも同様の目的での保健事業を行っており、当保健事業の成果を数値として把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	定年社員への書籍配布	全て	男女	60～60	被保険者	1	ス	-	シ	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	定年後の健康管理の働きかけ	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
配布率(【実績値】100% 配布率100%を維持する												【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 書籍配布は加入者の健康への意識づけを目的としており、その成果を数値で把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
													-	-	-	-	-	-					

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度					
アウトプット指標												アウトカム指標													
体育 奨励	5	既存	スポーツ大会等参加費補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	運動習慣の向上及び定着	本人で運動習慣のある方の割合が少なく（37％）、20歳からの体重変化があった方の割合が高い（49％）。 本人については、喫煙習慣や飲酒習慣がある方も多く体重変化に影響を与えていると考えられる。					
	参加者(【実績値】4人 【目標値】令和6年度：3人 令和7年度：3人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：7人 令和11年度：7人)参加者数の増加													スポーツ大会等参加補助は運動習慣の定着を目的としているが、その成果を把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)											
	5	既存	ウォーキングプログラム	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	-	ク	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	運動習慣の向上及び定着	本人で運動習慣のある方の割合が少なく（37％）、20歳からの体重変化があった方の割合が高い（49％）。 本人については、喫煙習慣や飲酒習慣がある方も多く体重変化に影響を与えていると考えられる。					
	参加者数(【実績値】10人 【目標値】令和6年度：35人 令和7年度：35人 令和8年度：37人 令和9年度：37人 令和10年度：40人 令和11年度：40人)参加促進による参加者数の増加を目指す													運動習慣の定着(【実績値】- 【目標値】令和6年度：41％ 令和7年度：41％ 令和8年度：43％ 令和9年度：43％ 令和10年度：45％ 令和11年度：45％)運動習慣の向上											
5	既存	運動促進（ゴルフ）	全て	男女	20～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	運動習慣の向上及び定着	本人で運動習慣のある方の割合が少なく（37％）、20歳からの体重変化があった方の割合が高い（49％）。 本人については、喫煙習慣や飲酒習慣がある方も多く体重変化に影響を与えていると考えられる。						
利用者(【実績値】250人 【目標値】令和6年度：250人 令和7年度：255人 令和8年度：260人 令和9年度：265人 令和10年度：270人 令和11年度：275人)利用者の増加													運動促進（ゴルフ）は運動習慣の定着を目的としているが、その成果を把握することは困難な為(アウトカムは設定されていません)												

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施

ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築

ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他